

済生会富山病院報



撮影：脳神経外科 堀江幸男

目次



理念・基本方針……………2	学術……………32～34
患者さまの権利宣言……………3	医療安全管理体制、電子カルテシステム、
診療・管理・運営……………4～31	行事……………35～37
患者さまの意識調査、患者さまの声、	14歳の挑戦、ソフトボール、音楽会、
済生会病院長会、	私達の職場・新人……………38～39
春の叙勲、睡眠時無呼吸症候群、	
接遇研修、ボランティア、	



社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部
富山県済生会
富山県済生会富山病院

理念

患者さま本位の心温まる
すぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さま本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さまの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さまの権利宣言

本院では“患者さま本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さまと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1 個人としてその人格を尊重される権利

患者さまはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

2 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さまは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

3 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さまはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さまが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)を受ける権利があります。



4 選択の自由と自己決定する権利

患者さまは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

5 プライバシーが守られる権利

患者さまは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さまには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ・ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えて下さい。
- ・診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えて下さい。
- ・他の患者さまの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



患者さまの意識調査をして

富山県済生会富山病院長 辻 政彦

医療は医療制度・環境設備・機能と医療人および病む人とのかかわり方の中で医療三角を形成していると考えています。その三角はバランスのよい正三角形でありたいと思います。

当院では“患者さま本位の心温まるすぐれた医療の提供”という理念を掲げ、全職員一丸となって努力しているところです。その中で現行の医療制度の中での制限や限界がありますが、ハード面などの整備にも努めています。

しかしなんととっても“良い医療を受けた”とさせていただくには医療の自己評価と受益者や客観的な第三者評価に大きな乖離があってはなりません。

人の実態は肉体30%精神70%と考えていますが、精神的満足度は大きな要因になると考えています。とりあえず色々な背景や個性をお持ちの方々から色々なご意見を頂きたく、非常に多くの細かい事柄をお聞きし大変お手数をかけましたが、ご協力を頂き大変感謝しております。

まずは手探りながらご意見に耳を傾け、解析の中から、現状と問題点を認識させていただき、明日への前進の糧とさせていただく所存です。少しのお時間を頂いてから再度ご意見を頂くつもりではありますが、その節はよろしく願いいたします。

「患者さまの意識調査」の結果について

当院は、常に医療サービスの質の向上を目指して業務に取り組んでおりますが、この度、患者さまからのご意見をいただくためのアンケートを実施させていただきました。

ご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。ここに、その結果の概要をご報告します。

当院としましては、今回のご意見を真摯に受けとめ、今後さらに患者さまから信頼され、心温まるすぐれた医療の提供に努める決意ですので、よろしくお願ひ申し上げます。

【調査実施の概要】

◎外来患者さまへのアンケート

・平成16年8月2～4日の3日間に外来で受診された方内、962名の方からお答えいただきました。

◎入院患者さまへのアンケート

・平成16年8月1～31日の間に、3日間以上入院されて退院された方110名の方からお答えいただきました。

【調査結果の概要】

1. 外来患者さまへのアンケートから

接客、サービス、施設面の満足度など6項目についてお尋ねしましたところ、概ね次のような評価・ご意見をいただきました。

(1) 職員の言葉づかい、態度については、概ね良いという評価をいただいたようですが、なお一部の職員の応対や説明などに問題があるようです。今後、さらに患者さまの立場に立った接遇研修の充実に努めてまいります。

(2) 待ち時間、受付、職員の説明などについては、「待ち時間が長い」、「診療時間が不足している」、「診療後の支払いまでの待ち時間が長い」、「薬をもらうまでの待ち時間が長い」など多くのご意見・改善要望をいただきました。

解決するには相当の努力を要する事柄が多く含まれていますが、患者さま自身の待ち時間の目安をお示しできる表示など、できることから早急に処理してまいりたいと考えてお

ります。

また、各診療科の担当医・診療時間の表示工夫、受付手順案内など、なるべく早く改善したいと考えております。

(3) 駐車場、交通の便、建物、設備などについては、「富山駅からの直通バスを!」、「バスの増便を!」、「駐車場が不足している」、「キッズルームが欲しい」など多くのご意見・改善要望をいただきました。

バスの問題は、なかなか困難な面もありますが、少しでも患者さまの声に答えられるよう、全職員が知恵を出し合うなどの検討をまいります。

2. 入院患者さまへのアンケートから

入院されていて困ったこと、医師や看護師などの医療技術・説明に対する満足度、入院中の環境などについてのご意見をいただきました。

(1) 患者さまに対する医師などの説明が十分でないと感じておられる方がありました。

これらにつきましては、インフォームドコンセント（説明と承諾）をさらに徹底するよう努めてまいります。

(2) 入院費用や保険の使い方の説明については、当院のPR不足もあったようですので、今後、改善に努力してまいります。

(3) 給食の好みにつきましては、選択食を増やすなどの努力をしておりますが、今後さらに工夫をまいります。

(4) 入院に際しての設備面での事前説明が十分でなかったようで、反省しております。今後、さらに説明を徹底します。

(5) 売店・レストランについてのご要望については、物理的な面など多くの困難な問題を抱えておりますが、少しでも前進するよう努めてまいりたいと考えております。

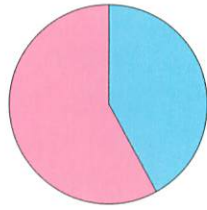
このほか、感謝のお言葉もいただきましたが、紙面の都合上、ご紹介を省かせていただきました。

外来患者さまの意識調査結果

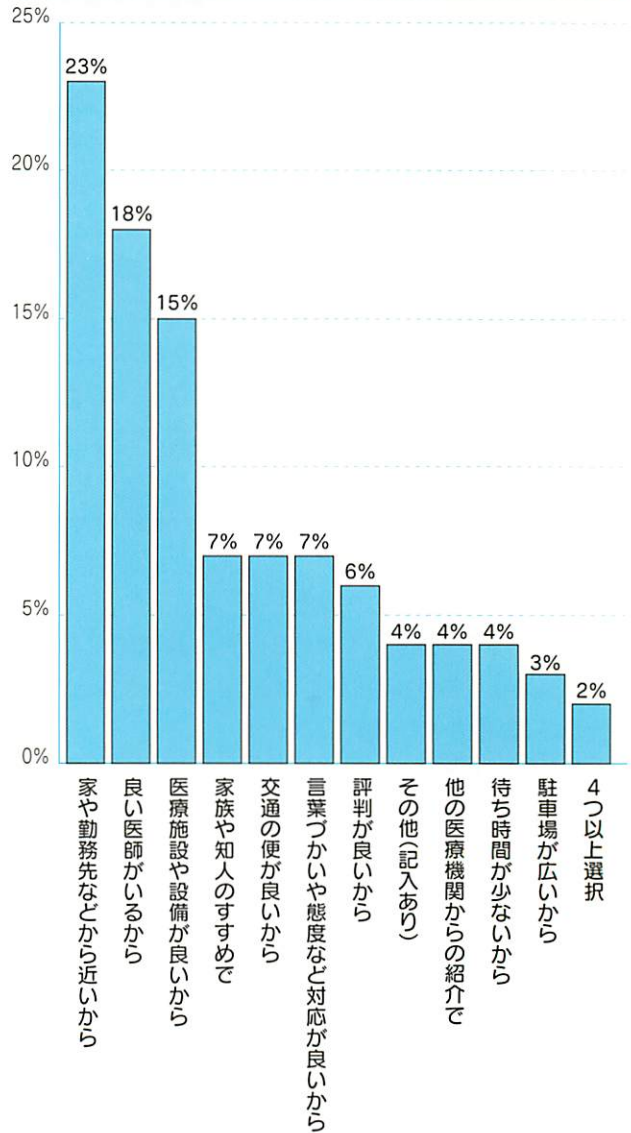
実施期間 / 平成16年8月2日～4日

あなたの性別は

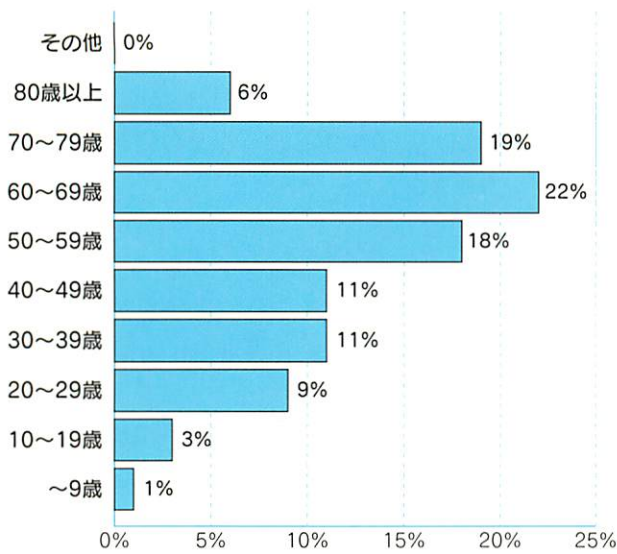
選択項目	人数	構成比
男性	406	42%
女性	551	58%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	962	100%



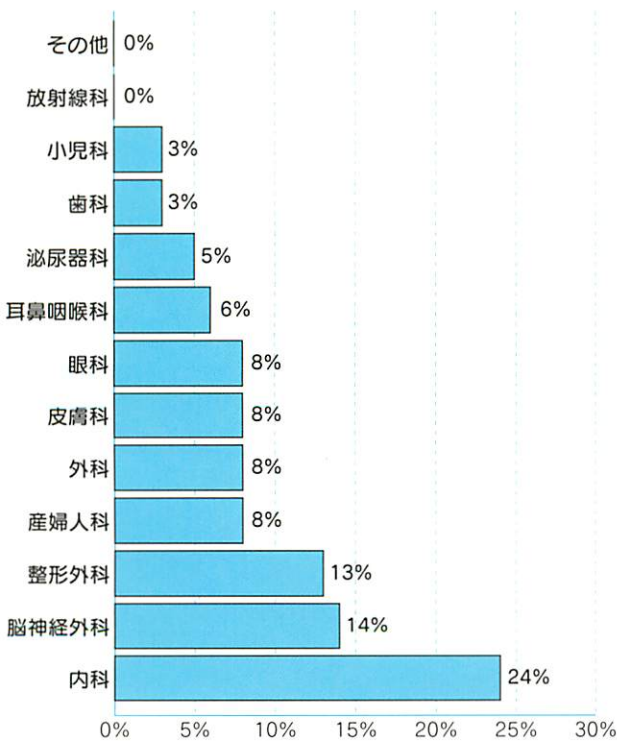
当院を利用された理由



あなたの年齢は

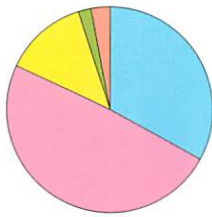


本日、受診された診療科(受診科すべて)



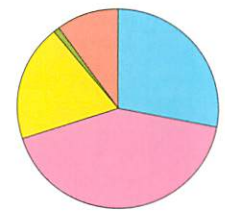
接客面 総合窓口(会計など)の対応

選択項目	人数	構成比
満足	306	33%
一応満足	457	49%
どちらでもない	122	13%
やや不満	21	2%
不満	3	0%
その他	24	3%
無回答	29	-
合計	962	100%



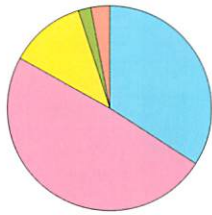
接客面 薬剤師の言葉づかい・態度

選択項目	人数	構成比
満足	249	28%
一応満足	367	42%
どちらでもない	163	19%
やや不満	11	1%
不満	1	0%
その他	85	10%
無回答	86	-
合計	962	100%



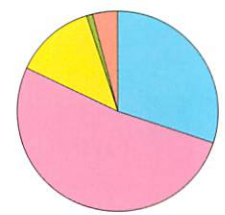
接客面 各科診療科受付の対応

選択項目	人数	構成比
満足	318	34%
一応満足	458	49%
どちらでもない	110	12%
やや不満	14	2%
不満	2	0%
その他	29	3%
無回答	31	-
合計	962	100%



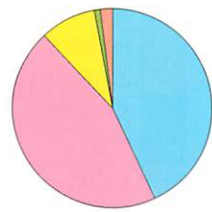
接客面 接客面全般について

選択項目	人数	構成比
満足	271	30%
一応満足	470	52%
どちらでもない	115	13%
やや不満	13	1%
不満	3	0%
その他	40	4%
無回答	50	-
合計	962	100%



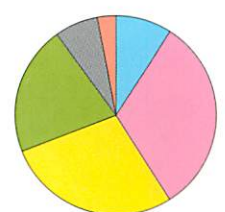
接客面 看護師の言葉づかい・態度

選択項目	人数	構成比
満足	399	43%
一応満足	420	45%
どちらでもない	82	9%
やや不満	9	1%
不満	4	0%
その他	20	2%
無回答	28	-
合計	962	100%



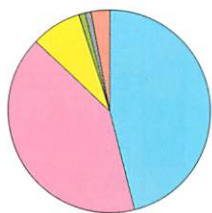
サービス面 受付開始時間や診療待ち時間

選択項目	人数	構成比
満足	73	9%
一応満足	251	32%
どちらでもない	217	28%
やや不満	165	21%
不満	58	7%
その他	20	3%
無回答	178	-
合計	962	100%



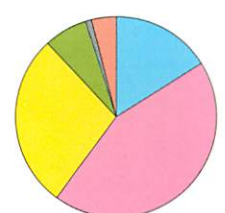
接客面 医師の言葉づかい・態度

選択項目	人数	構成比
満足	433	46%
一応満足	381	41%
どちらでもない	75	8%
やや不満	14	1%
不満	9	1%
その他	24	3%
無回答	26	-
合計	962	100%



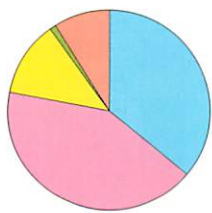
サービス面 診療時間

選択項目	人数	構成比
満足	124	16%
一応満足	340	44%
どちらでもない	215	28%
やや不満	57	7%
不満	11	1%
その他	29	4%
無回答	186	-
合計	962	100%



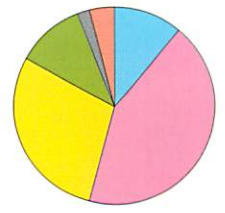
接客面 検査や放射線技師の言葉づかい・態度

選択項目	人数	構成比
満足	314	36%
一応満足	375	42%
どちらでもない	110	12%
やや不満	6	1%
不満	1	0%
その他	77	9%
無回答	79	-
合計	962	100%



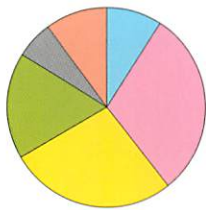
サービス面 診療後の支払いまでの待ち時間

選択項目	人数	構成比
満足	85	11%
一応満足	329	43%
どちらでもない	224	29%
やや不満	88	11%
不満	14	2%
その他	29	4%
無回答	193	-
合計	962	100%



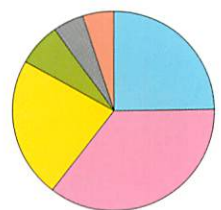
サービス面 薬をもらうまでの待ち時間

選択項目	人数	構成比
満足	69	9%
一応満足	222	30%
どちらでもない	200	27%
やや不満	127	17%
不満	43	6%
その他	70	10%
無回答	231	-
合計	962	100%



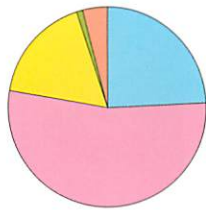
施設面 交通の便利さ

選択項目	人数	構成比
満足	186	25%
一応満足	265	36%
どちらでもない	168	23%
やや不満	49	7%
不満	35	5%
その他	38	5%
無回答	221	-
合計	962	100%



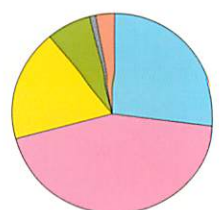
サービス面 看護師の説明のわかりやすさ

選択項目	人数	構成比
満足	184	24%
一応満足	407	53%
どちらでもない	133	17%
やや不満	7	1%
不満	3	0%
その他	33	4%
無回答	195	-
合計	962	100%



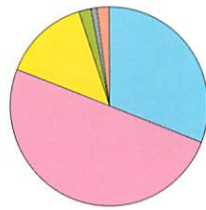
施設面 駐車場の広さ・入りやすさ

選択項目	人数	構成比
満足	207	27%
一応満足	339	44%
どちらでもない	135	18%
やや不満	54	7%
不満	10	1%
その他	24	3%
無回答	193	-
合計	962	100%



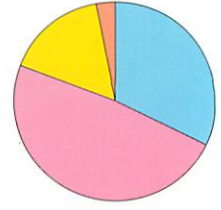
サービス面 医師の病状や検査結果の説明のわかりやすさ

選択項目	人数	構成比
満足	239	31%
一応満足	384	50%
どちらでもない	111	14%
やや不満	15	2%
不満	6	1%
その他	19	2%
無回答	188	-
合計	962	100%



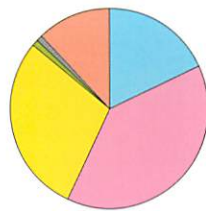
施設面 建物の外観やつくり

選択項目	人数	構成比
満足	240	32%
一応満足	365	48%
どちらでもない	124	16%
やや不満	2	0%
不満	0	0%
その他	26	3%
無回答	205	-
合計	962	100%



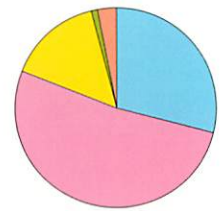
サービス面 薬剤師の説明のわかりやすさ

選択項目	人数	構成比
満足	126	18%
一応満足	280	39%
どちらでもない	209	29%
やや不満	8	1%
不満	4	1%
その他	84	12%
無回答	251	-
合計	962	100%



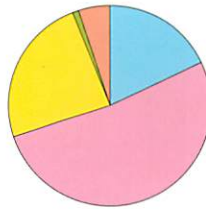
施設面 総合待合室の設備や雰囲気

選択項目	人数	構成比
満足	227	29%
一応満足	398	52%
どちらでもない	115	15%
やや不満	10	1%
不満	0	0%
その他	22	3%
無回答	190	-
合計	962	100%



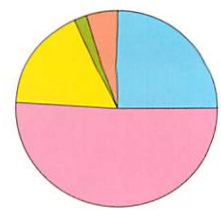
サービス面 診療科でのサービス全般について

選択項目	人数	構成比
満足	140	18%
一応満足	392	52%
どちらでもない	180	24%
やや不満	7	1%
不満	3	0%
その他	37	5%
無回答	203	-
合計	962	100%



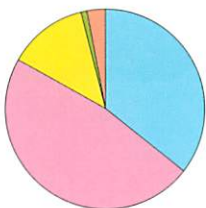
施設面 各科の待合室の設備や雰囲気

選択項目	人数	構成比
満足	190	25%
一応満足	389	51%
どちらでもない	133	17%
やや不満	14	2%
不満	0	0%
その他	35	5%
無回答	201	-
合計	962	100%



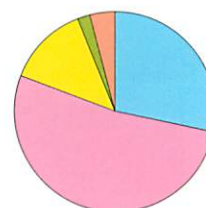
施設面 トイレや洗面所設備

選択項目	人数	構成比
満足	275	36%
一応満足	370	48%
どちらでもない	99	13%
やや不満	9	1%
不満	0	0%
その他	21	3%
無回答	188	-
合計	962	100%



施設面 建物内の室温

選択項目	人数	構成比
満足	215	28%
一応満足	400	52%
どちらでもない	102	13%
やや不満	19	2%
不満	1	0%
その他	30	4%
無回答	195	-
合計	962	100%

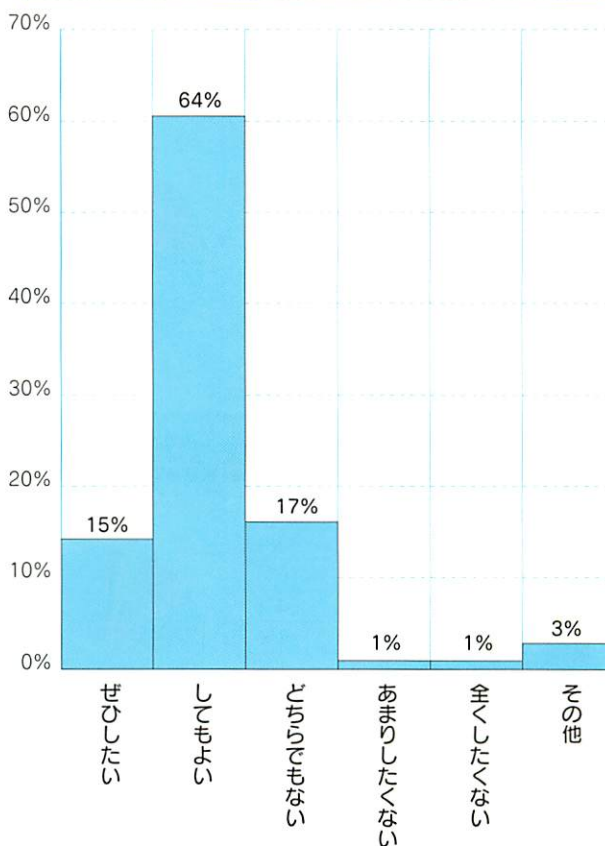


施設面 売店・食堂・自動販売機

選択項目	人数	構成比
満足	120	16%
一応満足	327	44%
どちらでもない	209	28%
やや不満	42	6%
不満	8	1%
その他	45	6%
無回答	211	-
合計	962	100%

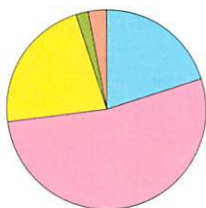


知人に当院を紹介・推薦したいと思えますか



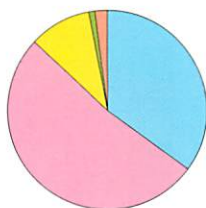
施設面 案内看板や表示のわかりやすさ

選択項目	人数	構成比
満足	153	20%
一応満足	398	53%
どちらでもない	165	22%
やや不満	15	2%
不満	0	0%
その他	24	3%
無回答	207	-
合計	962	100%



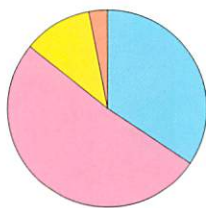
施設面 清潔感(掃除がゆきとどいているか)

選択項目	人数	構成比
満足	269	35%
一応満足	402	52%
どちらでもない	76	10%
やや不満	7	1%
不満	0	0%
その他	16	2%
無回答	192	-
合計	962	100%



施設面 清潔感(不快な臭い等がないか)

選択項目	人数	構成比
満足	262	34%
一応満足	395	51%
どちらでもない	88	11%
やや不満	2	0%
不満	0	0%
その他	25	3%
無回答	190	-
合計	962	100%

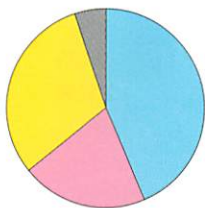


入院患者さまの意識調査結果

実施期間／平成16年8月1日～31日

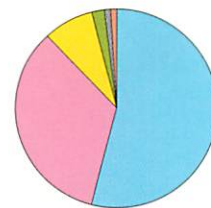
私はこの病院に入院しなければならないか、納得して入院を決めた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	77	78%
ややそうだ	8	8%
どちらでもない	12	12%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	11	-
合計	110	100%



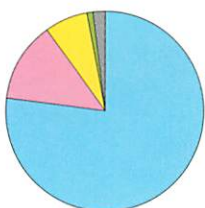
私と医師は十分話し合い、私が聞きたいことはすべて質問した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	55	54%
ややそうだ	34	34%
どちらでもない	8	8%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	1	1%
その他	1	1%
無回答	9	-
合計	110	100%



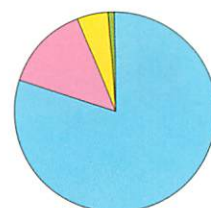
医師から、検査数値・画像を使った入院の理由の説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	79	77%
ややそうだ	13	13%
どちらでもない	7	7%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	8	-
合計	110	100%



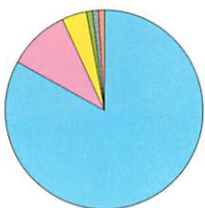
私は入院の手続きで困ることはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	78	80%
ややそうだ	14	14%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



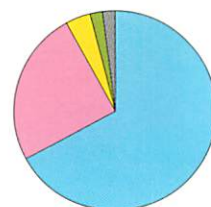
医師から、検査・治療・手術などの治療計画、日程の説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	82	83%
ややそうだ	10	10%
どちらでもない	4	4%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	1	1%
その他	1	1%
無回答	11	-
合計	110	100%



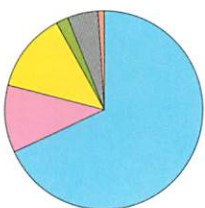
入院の手続きについて書かれたパンフレットを読み、理解した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	69	67%
ややそうだ	26	25%
どちらでもない	4	4%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	7	-
合計	110	100%



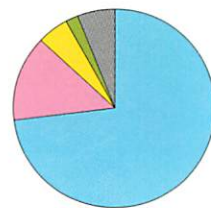
医師から、検査・治療・手術などの治療の危険度の説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	65	68%
ややそうだ	11	11%
どちらでもない	12	13%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	5	5%
その他	1	1%
無回答	14	-
合計	110	100%



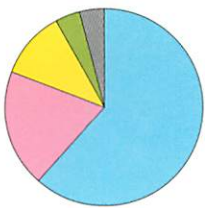
入院の手続きで、長時間待たされたりやり直しをすることはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	73	73%
ややそうだ	14	14%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	6	6%
その他	0	0%
無回答	10	-
合計	110	100%



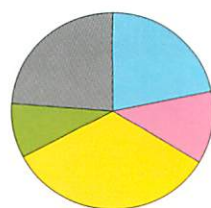
医師から、治療の実施は私の医師や考えが尊重されると説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	60	61%
ややそうだ	19	19%
どちらでもない	11	11%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	4	4%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



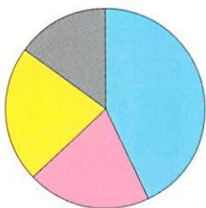
入院費用や保険の使い方について説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	20	22%
ややそうだ	11	12%
どちらでもない	31	34%
ややちがう	8	9%
まったくちがう	22	24%
その他	0	0%
無回答	18	-
合計	110	100%



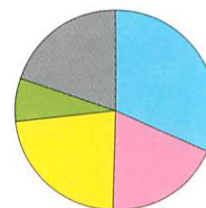
入院について「困っていること」や「希望」があるか聞かれた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	42	43%
ややそうだ	19	20%
どちらでもない	21	22%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	15	15%
その他	0	0%
無回答	13	-
合計	110	100%



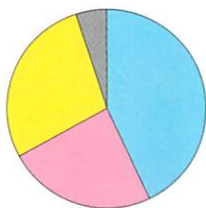
非常口・トイレ・浴室・コインランドリーの場所に実際に案内され、説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	33	32%
ややそうだ	19	19%
どちらでもない	23	23%
ややちがう	7	7%
まったくちがう	20	20%
その他	0	0%
無回答	8	-
合計	110	100%



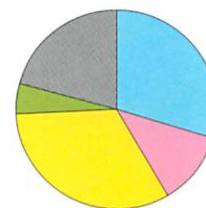
私は職員と十分話し合い、聞きたいことはすべて質問した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	42	43%
ややそうだ	24	24%
どちらでもない	27	28%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	5	5%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



売店・レストラン等の場所の説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	30	30%
ややそうだ	12	12%
どちらでもない	33	33%
ややちがう	5	5%
まったくちがう	21	21%
その他	0	0%
無回答	9	-
合計	110	100%



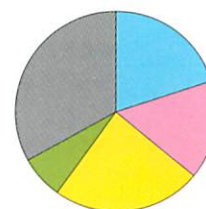
私は入院時に、治療以外の入院生活の説明を受け、理解した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	39	40%
ややそうだ	24	24%
どちらでもない	20	20%
ややちがう	5	5%
まったくちがう	10	10%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



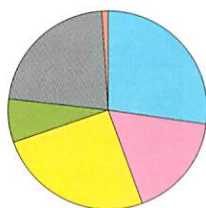
火災など緊急時の対応や避難路の説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	20	20%
ややそうだ	16	16%
どちらでもない	24	24%
ややちがう	7	7%
まったくちがう	33	33%
その他	0	0%
無回答	10	-
合計	110	100%



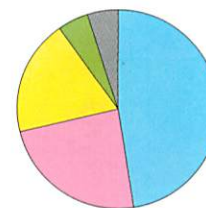
食事の好みなどを聞かれ、選ぶことができた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	27	27%
ややそうだ	17	17%
どちらでもない	25	25%
ややちがう	7	7%
まったくちがう	22	22%
その他	1	1%
無回答	11	-
合計	110	100%



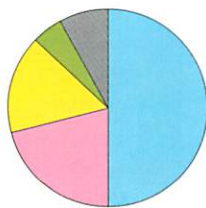
入院中、困ったら誰に言えばいいのかよくわかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	49	48%
ややそうだ	24	24%
どちらでもない	19	19%
ややちがう	5	5%
まったくちがう	5	5%
その他	0	0%
無回答	8	-
合計	110	100%



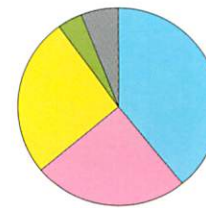
入浴・食事・消灯時間等の決まりの説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	52	50%
ややそうだ	22	21%
どちらでもない	17	16%
ややちがう	5	5%
まったくちがう	8	8%
その他	0	0%
無回答	6	-
合計	110	100%



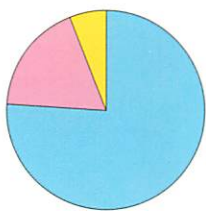
入院生活について、聞きたいことはすべて質問した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	40	39%
ややそうだ	25	25%
どちらでもない	27	26%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	6	6%
その他	0	0%
無回答	8	-
合計	110	100%



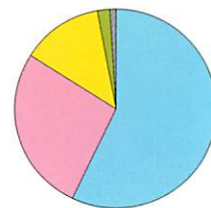
私は医師の人柄や言動に満足し、信頼している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	82	76%
ややそうだ	19	18%
どちらでもない	7	6%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	2	-
合計	110	100%



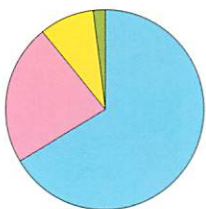
医師とは入院中によく会話し、医師から勇気づけられた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	61	57%
ややそうだ	29	27%
どちらでもない	14	13%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



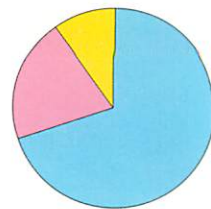
症状や治療について、何でも医師に聞くことができた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	70	67%
ややそうだ	24	23%
どちらでもない	9	9%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	110	100%



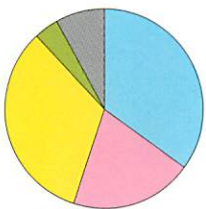
私は医師の技術に満足し、安心している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	74	70%
ややそうだ	21	20%
どちらでもない	11	10%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



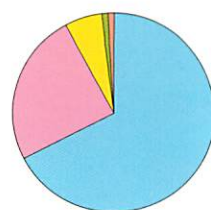
治療について、いくつかの方法から選ぶことができた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	34	35%
ややそうだ	19	20%
どちらでもない	32	33%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	8	8%
その他	0	0%
無回答	13	-
合計	110	100%



医師は専門用語を使わずに、分かりやすい言葉で説明した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	74	68%
ややそうだ	27	25%
どちらでもない	6	6%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	1	1%
無回答	1	-
合計	110	100%



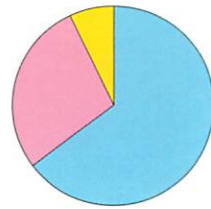
医師は、プライバシーに関わる内容は他の人に聞こえないようにした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	48	50%
ややそうだ	23	24%
どちらでもない	22	23%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	3	3%
その他	0	0%
無回答	14	-
合計	110	100%



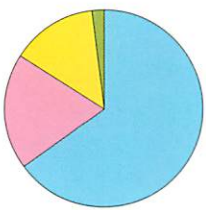
医師は病気の状態とこれからどうなるかについて、十分説明した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	70	64%
ややそうだ	31	28%
どちらでもない	8	7%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	1	-
合計	110	100%



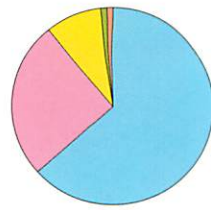
医師は私の治療に十分な時間を使った。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	68	65%
ややそうだ	20	19%
どちらでもない	15	14%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	110	100%



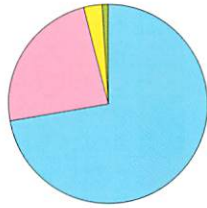
医師は看護師や他の職員にできばぎと指示をした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	67	64%
ややそうだ	27	26%
どちらでもない	9	9%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	1	1%
無回答	5	-
合計	110	100%



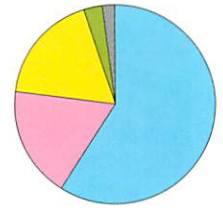
入院中、確かに良くなっているという実感を持った。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	80	73%
ややそうだ	26	24%
どちらでもない	3	3%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	-
合計	110	100%



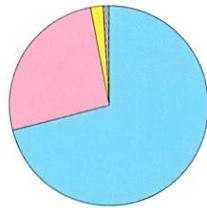
看護師は、プライバシーに関わる内容は他の人に聞こえないようにした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	58	59%
ややそうだ	18	18%
どちらでもない	18	18%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	11	-
合計	110	100%



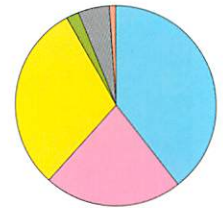
私は看護師の人柄や言動に満足し、信頼している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	75	71%
ややそうだ	28	26%
どちらでもない	2	2%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



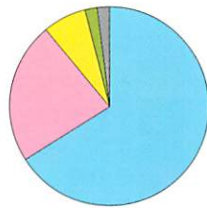
看護師は、病室内の人間関係が良くなるように会話などを促した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	37	39%
ややそうだ	21	22%
どちらでもない	28	30%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	5	5%
その他	1	1%
無回答	16	-
合計	110	100%



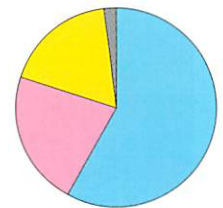
看護師は「困っていること」や「希望」はないか、聞いた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	69	66%
ややそうだ	24	23%
どちらでもない	7	7%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	6	-
合計	110	100%



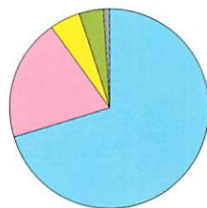
私は看護師と入院中によく話し、看護師から勇気づけられた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	62	58%
ややそうだ	23	22%
どちらでもない	19	18%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



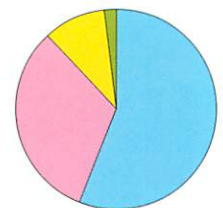
看護師にお願いしたことは、すぐにやってもらえた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	75	71%
ややそうだ	21	20%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



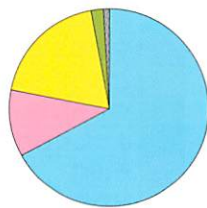
私は看護師の技術に満足し、信頼している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	60	56%
ややそうだ	35	32%
どちらでもない	11	10%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	2	-
合計	110	100%



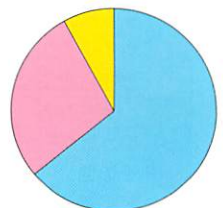
看護師は、私の着替えや排泄が他の人に分からないようにした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	64	67%
ややそうだ	11	11%
どちらでもない	18	19%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	14	-
合計	110	100%



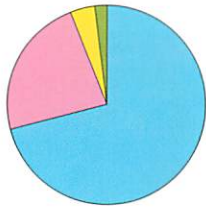
看護師は専門用語を使わず、分かりやすい言葉で説明した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	69	64%
ややそうだ	30	28%
どちらでもない	9	8%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	2	-
合計	110	100%



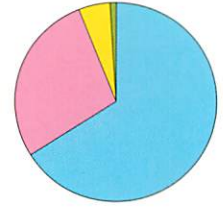
看護師は、てきぱきと手際よく仕事した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	77	71%
ややそうだ	25	23%
どちらでもない	4	4%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	2	-
合計	110	100%



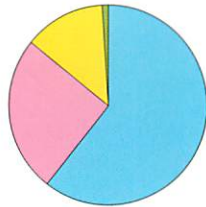
私は検査室の対応について満足している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	62	66%
ややそうだ	26	28%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	16	-
合計	110	100%



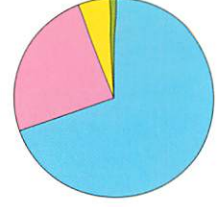
私は医師や看護師、技師などのチームワークに満足し、安心している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	64	60%
ややそうだ	27	25%
どちらでもない	14	13%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



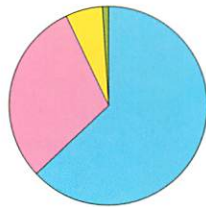
検査技師は専門用語を使わずに、分かりやすい言葉で説明した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	68	69%
ややそうだ	24	24%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



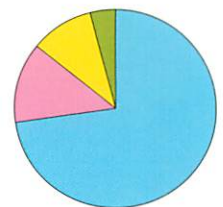
治療に関わる医師や看護師、技師は、私の状態を共通で知っていた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	65	63%
ややそうだ	31	30%
どちらでもない	6	6%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	7	-
合計	110	100%



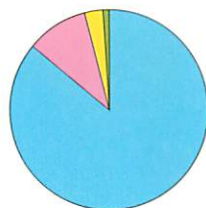
検査室で「恥ずかしい」「不快」と思うことはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	70	72%
ややそうだ	13	13%
どちらでもない	10	10%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	13	-
合計	110	100%



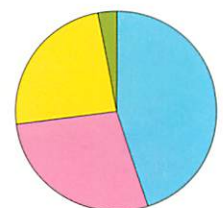
氏名・病名・薬・手術の日程などを間違えられたことはない。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	92	86%
ややそうだ	11	10%
どちらでもない	3	3%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



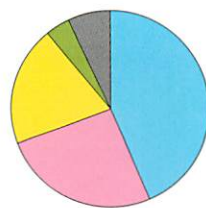
検査の内容について、何でも検査技師に聞くことができた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	43	45%
ややそうだ	27	28%
どちらでもない	23	24%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	14	-
合計	110	100%



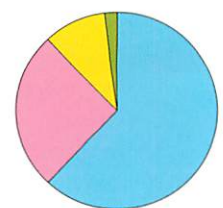
同じ内容の説明を複数の人からされたことはない。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	44	44%
ややそうだ	26	26%
どちらでもない	20	20%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	7	7%
その他	0	0%
無回答	9	-
合計	110	100%



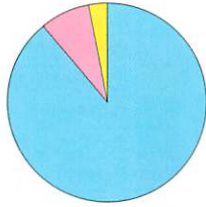
行われた検査の種類と内容について、納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	61	62%
ややそうだ	25	26%
どちらでもない	10	10%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



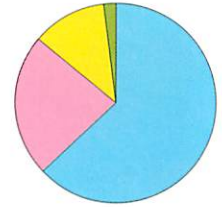
私は受けた手術について納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	53	88%
ややそうだ	5	8%
どちらでもない	2	3%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	50	-
合計	110	100%



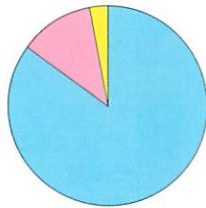
手術の結果について説明を受け、聞きたいことはすべて質問した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	38	63%
ややそうだ	14	23%
どちらでもない	7	12%
ややちがう	1	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	50	-
合計	110	100%



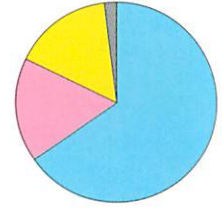
手術内容の説明を理解した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	50	85%
ややそうだ	7	12%
どちらでもない	2	3%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	51	-
合計	110	100%



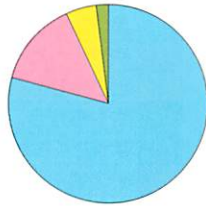
入院してから手術するまでの時間の長さを納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	38	66%
ややそうだ	10	17%
どちらでもない	9	16%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	2%
その他	0	0%
無回答	52	-
合計	110	100%



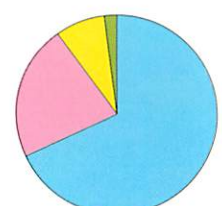
手術に伴う危険性について理解した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	47	80%
ややそうだ	8	14%
どちらでもない	3	5%
ややちがう	1	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	51	-
合計	110	100%



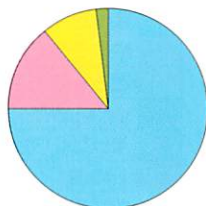
手術してから、退院までの時間の長さを納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	41	68%
ややそうだ	13	22%
どちらでもない	5	8%
ややちがう	1	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	50	-
合計	110	100%



麻酔に伴う危険性について理解した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	43	75%
ややそうだ	8	14%
どちらでもない	5	9%
ややちがう	1	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	53	-
合計	110	100%



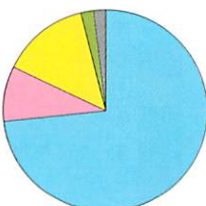
私は入院中に行われた、その他の治療に満足している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	67	71%
ややそうだ	17	18%
どちらでもない	9	9%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	15	-
合計	110	100%



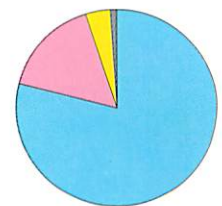
手術後の痛みや不快感を伝えて、軽減する処置を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	43	74%
ややそうだ	5	9%
どちらでもない	8	14%
ややちがう	1	2%
まったくちがう	1	2%
その他	0	0%
無回答	52	-
合計	110	100%



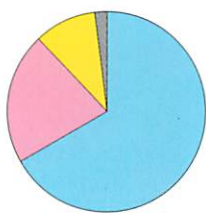
治療を受ける前には、本人であることを確認された。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	79	79%
ややそうだ	16	16%
どちらでもない	4	4%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	10	-
合計	110	100%



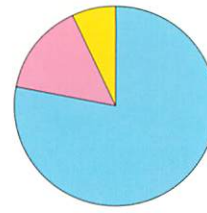
職員は、治療中は私に話しかけ、次の処置が分かるようにした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	65	66%
ややそうだ	21	21%
どちらでもない	10	10%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



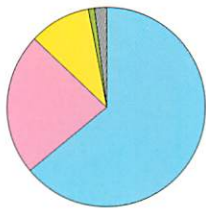
もらった薬の説明を受け、その薬の必要性を納得した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	76	78%
ややそうだ	15	15%
どちらでもない	7	7%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



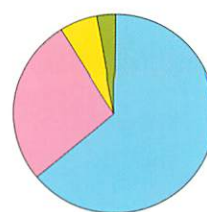
職員は私の体に触れるなどして誘導し、治療を受けやすくした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	62	64%
ややそうだ	22	23%
どちらでもない	10	10%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	13	-
合計	110	100%



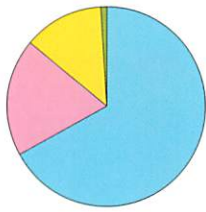
私は入院中の病院全体の環境について満足している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	69	64%
ややそうだ	29	27%
どちらでもない	6	6%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



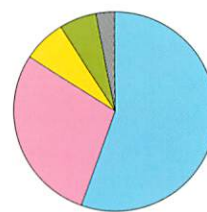
治療中、痛いときや不快なとき、遠慮なくそれを告げた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	68	67%
ややそうだ	19	19%
どちらでもない	13	13%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	9	-
合計	110	100%



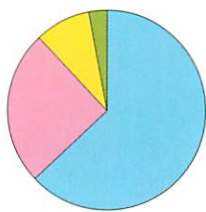
病院内で汚物を見たり、悪臭がしたことはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	59	56%
ややそうだ	30	29%
どちらでもない	7	7%
ややちがう	6	6%
まったくちがう	3	3%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	110	100%



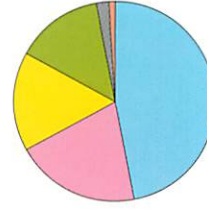
点滴や注射の痛みや不快感は、我慢できる範囲だった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	63	63%
ややそうだ	25	25%
どちらでもない	9	9%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	10	-
合計	110	100%



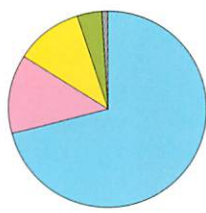
病院内の騒音、大声に困ったことはない。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	49	47%
ややそうだ	21	20%
どちらでもない	17	16%
ややちがう	15	14%
まったくちがう	2	2%
その他	1	1%
無回答	5	-
合計	110	100%



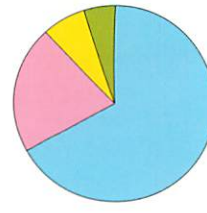
病室内の治療で「恥ずかしい」「不快」と思うことはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	70	71%
ややそうだ	13	13%
どちらでもない	11	11%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	11	-
合計	110	100%



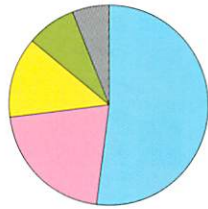
病院内は昼夜を通じて適切な明るさ、暗さだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	72	67%
ややそうだ	22	21%
どちらでもない	8	7%
ややちがう	5	5%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



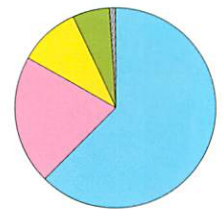
病院内は適切な暖かさ、涼しさだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	56	52%
ややそうだ	22	21%
どちらでもない	14	13%
ややちがう	9	8%
まったくちがう	6	6%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



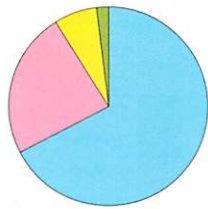
トイレや浴室の数は十分あり、困ることはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	67	63%
ややそうだ	22	21%
どちらでもない	11	10%
ややちがう	6	6%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



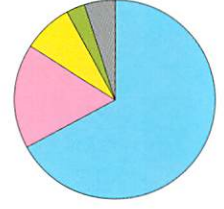
病院内はいつも清掃が行き届いていた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	72	68%
ややそうだ	25	24%
どちらでもない	7	7%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



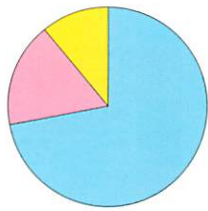
トイレや浴室で「恥ずかしい」「不快」と思うことはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	70	67%
ややそうだ	18	17%
どちらでもない	8	8%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	5	5%
その他	0	0%
無回答	6	-
合計	110	100%



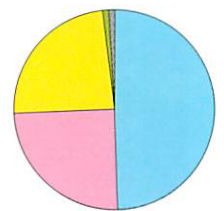
病院内はスロープや手すりがあり、便利だった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	74	72%
ややそうだ	18	17%
どちらでもない	11	11%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	7	-
合計	110	100%



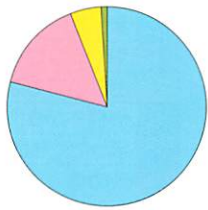
観葉植物・絵画・壁紙などは、さわやかで明るい感じがした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	53	50%
ややそうだ	26	25%
どちらでもない	25	24%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



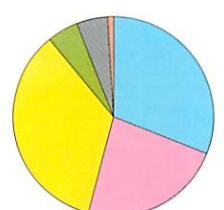
廊下や病室は、十分な広さだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	84	79%
ややそうだ	16	15%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



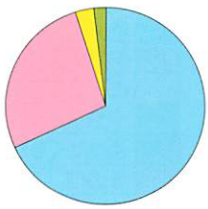
売店は使いやすかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	32	31%
ややそうだ	23	23%
どちらでもない	36	35%
ややちがう	5	5%
まったくちがう	5	5%
その他	1	1%
無回答	8	-
合計	110	100%



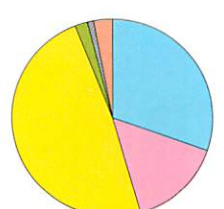
病室・浴室・トイレなどは清潔だった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	72	68%
ややそうだ	29	27%
どちらでもない	3	3%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



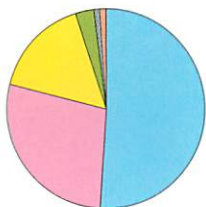
レストランは使いやすかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	27	30%
ややそうだ	14	15%
どちらでもない	44	48%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	1	1%
その他	3	3%
無回答	19	-
合計	110	100%



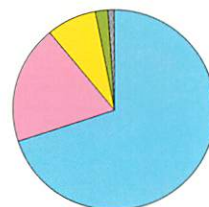
売店員、清掃員など医療スタッフ以外の対応が良かった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	54	51%
ややそうだ	30	28%
どちらでもない	17	16%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	1	1%
その他	1	1%
無回答	4	-
合計	110	100%



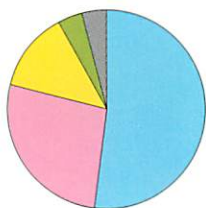
私は、入院中の生活時間帯を納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	73	70%
ややそうだ	20	19%
どちらでもない	8	8%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	6	-
合計	110	100%



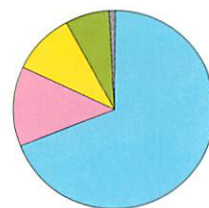
私は入院中の食事について納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	53	52%
ややそうだ	28	27%
どちらでもない	13	13%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	4	4%
その他	0	0%
無回答	8	-
合計	110	100%



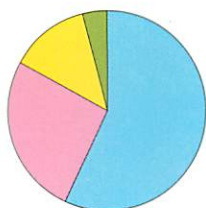
消灯時間、起床時間に不都合はなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	74	69%
ややそうだ	14	13%
どちらでもない	11	10%
ややちがう	7	7%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	3	-
合計	110	100%



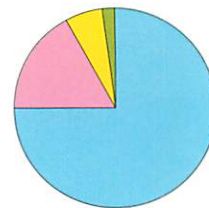
食事の時間帯で困ったことはない。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	60	57%
ややそうだ	28	26%
どちらでもない	14	13%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



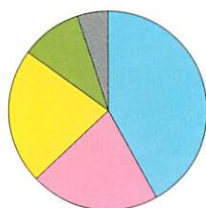
お見舞い、家族との面会時間は十分だった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	79	75%
ややそうだ	18	17%
どちらでもない	6	6%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	110	100%



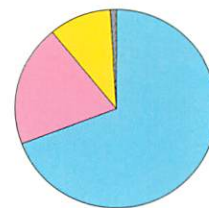
食事のメニュー、味、温度、量で困ったことはない。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	44	42%
ややそうだ	22	21%
どちらでもない	23	22%
ややちがう	11	10%
まったくちがう	5	5%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	110	100%



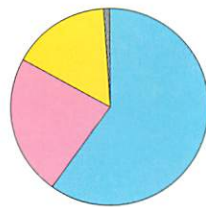
ナースコールをしてから看護師が来るまでの時間は早かった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	73	70%
ややそうだ	21	20%
どちらでもない	10	10%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	5	-
合計	110	100%



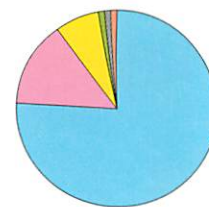
食事の配膳、片付けは静かでスムーズだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	64	60%
ややそうだ	24	23%
どちらでもない	17	16%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	4	-
合計	110	100%



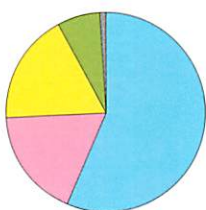
テレビや読書の時間は十分にあった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	80	76%
ややそうだ	15	14%
どちらでもない	7	7%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	1	1%
その他	1	1%
無回答	5	-
合計	110	100%



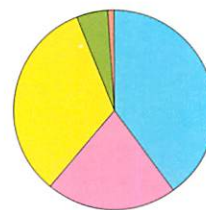
電話などで院外との連絡はとりやすかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	58	57%
ややそうだ	18	18%
どちらでもない	18	18%
ややちがう	7	7%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	8	-
合計	110	100%



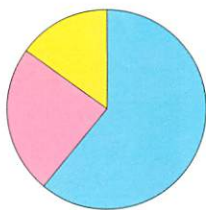
病院内ですれ違う職員は、
松葉杖、車椅子での移動を進んで援助した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	35	40%
ややそうだ	18	21%
どちらでもない	29	33%
ややちがう	4	5%
まったくちがう	0	0%
その他	1	1%
無回答	23	-
合計	110	100%



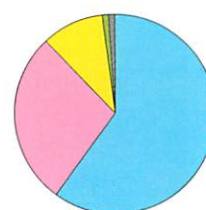
私は入院中の援助や職員の対応に満足している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	57	61%
ややそうだ	22	24%
どちらでもない	14	15%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	17	-
合計	110	100%



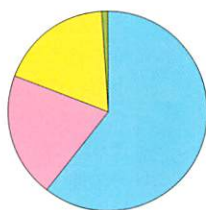
私は医師・看護師・薬剤師等の退院後の説明に満足している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	56	60%
ややそうだ	26	28%
どちらでもない	9	10%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	17	-
合計	110	100%



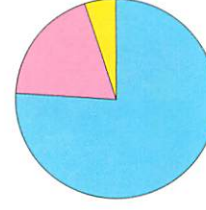
介助が必要なとき、すぐに介助を受けることができた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	56	60%
ややそうだ	19	20%
どちらでもない	17	18%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	17	-
合計	110	100%



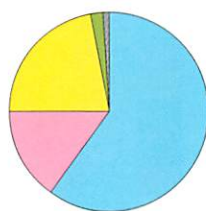
退院の日程について事前に説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	74	76%
ややそうだ	19	19%
どちらでもない	5	5%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	12	-
合計	110	100%



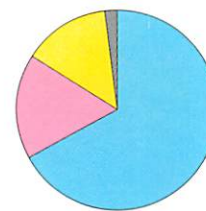
介助を受けるとき、「恥ずかしい」「不快」と
思うことはなかった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	56	60%
ややそうだ	14	15%
どちらでもない	21	22%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	16	-
合計	110	100%



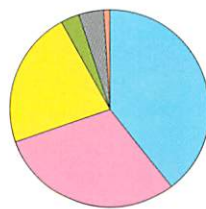
退院後の治療計画について説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	63	67%
ややそうだ	16	17%
どちらでもない	13	14%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	16	-
合計	110	100%



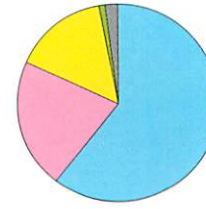
病院内ですれ違う職員は、私に挨拶や会釈をした。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	39	39%
ややそうだ	30	30%
どちらでもない	22	22%
ややちがう	3	3%
まったくちがう	4	4%
その他	1	1%
無回答	11	-
合計	110	100%



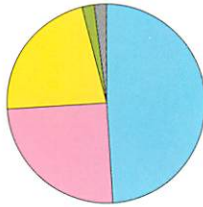
退院後の生活やケアで注意すべきことの説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	55	60%
ややそうだ	19	21%
どちらでもない	14	15%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	19	-
合計	110	100%



退院後の治療の手続きや利用できる制度の説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	43	49%
ややそうだ	22	25%
どちらでもない	19	22%
ややちがう	2	2%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	22	-
合計	110	100%



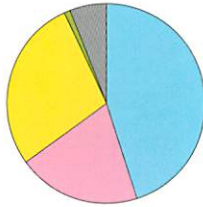
入院費の支払いについて、気がかりなことはすべて相談できた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	29	43%
ややそうだ	9	13%
どちらでもない	22	33%
ややちがう	2	3%
まったくちがう	5	7%
その他	0	0%
無回答	43	-
合計	110	100%



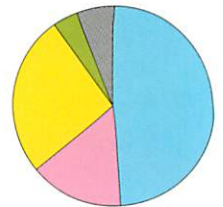
退院後の緊急時にどうすれば良いか、連絡先などの説明を受けた。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	38	45%
ややそうだ	17	20%
どちらでもない	24	28%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	5	6%
その他	0	0%
無回答	25	-
合計	110	100%



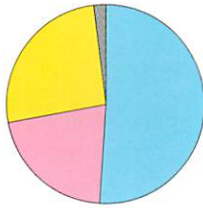
かかった費用についての説明を受け、書面を受け取った。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	35	49%
ややそうだ	11	15%
どちらでもない	19	26%
ややちがう	3	4%
まったくちがう	4	6%
その他	0	0%
無回答	38	-
合計	110	100%



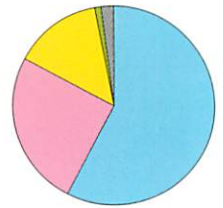
退院後の生活や治療について、聞きたいことはすべて質問した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	45	51%
ややそうだ	19	21%
どちらでもない	23	26%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	21	-
合計	110	100%



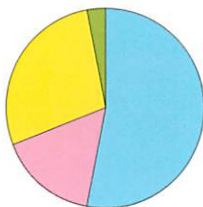
入院して治療した結果は私の期待通りのものだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	50	57%
ややそうだ	22	25%
どちらでもない	12	14%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	23	-
合計	110	100%



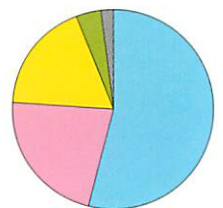
私は入院中、病院に支払った費用について納得している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	36	53%
ややそうだ	11	16%
どちらでもない	19	28%
ややちがう	2	3%
まったくちがう	0	0%
その他	0	0%
無回答	42	-
合計	110	100%



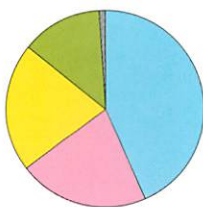
治療の結果は、入院前に私が考えていた通りだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	49	54%
ややそうだ	20	22%
どちらでもない	16	18%
ややちがう	4	4%
まったくちがう	2	2%
その他	0	0%
無回答	19	-
合計	110	100%



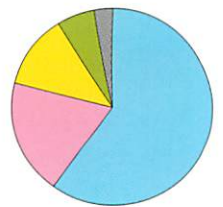
入院中にかかった費用は、入院前に予測した範囲内だった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	30	43%
ややそうだ	15	21%
どちらでもない	15	21%
ややちがう	9	13%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	40	-
合計	110	100%



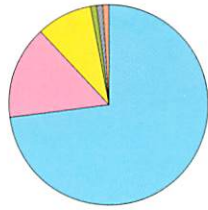
入院期間は、納得できる長さだった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	57	60%
ややそうだ	18	19%
どちらでもない	11	12%
ややちがう	6	6%
まったくちがう	3	3%
その他	0	0%
無回答	15	-
合計	110	100%



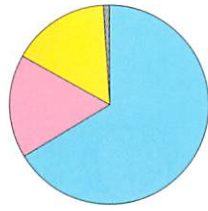
入院中に受けた治療について満足している。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	70	73%
ややそうだ	14	15%
どちらでもない	9	9%
ややちがう	1	1%
まったくちがう	1	1%
その他	1	1%
無回答	14	-
合計	110	100%



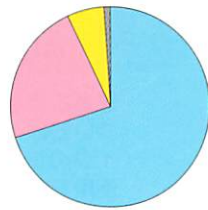
医師や職員は、私の考えを反映させて治療にあたった。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	60	67%
ややそうだ	15	17%
どちらでもない	14	16%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	20	-
合計	110	100%

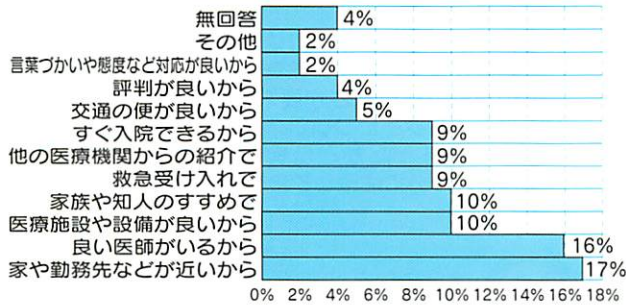


全体としてこの病院に満足した。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	68	70%
ややそうだ	22	23%
どちらでもない	6	6%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	13	-
合計	110	100%

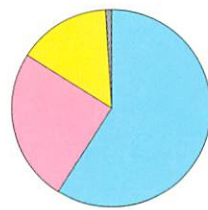


当院を選ばれた理由をお答えください。



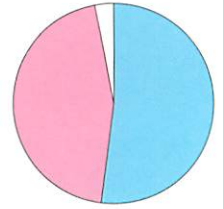
この病院を家族や友人に勧めたいと思う。

選択項目	人数	構成比
まったくそうだ	57	59%
ややそうだ	24	25%
どちらでもない	15	15%
ややちがう	0	0%
まったくちがう	1	1%
その他	0	0%
無回答	13	-
合計	110	100%

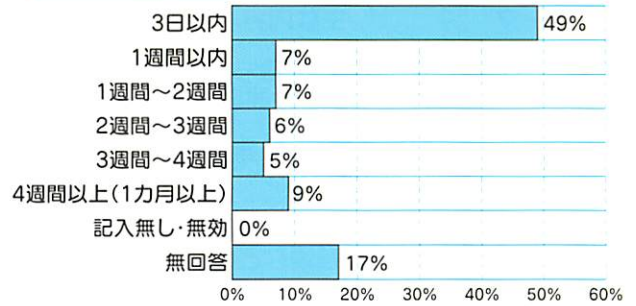


性別

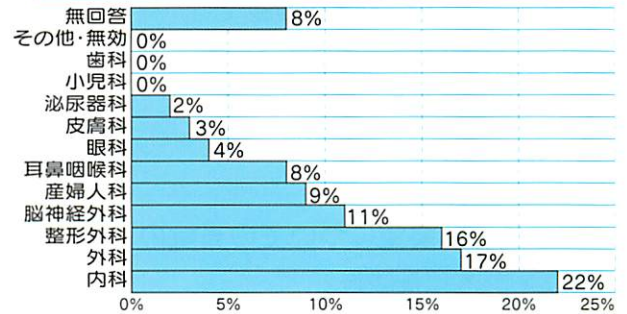
選択項目	人数	構成比
男性	49	52%
女性	42	45%
その他	3	3%
無回答	16	-
合計	110	100%



入院が決まって何日以内に入院されましたか。

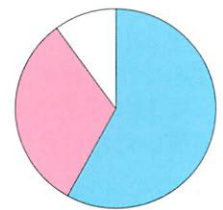


入院された診療科をお教えてください。

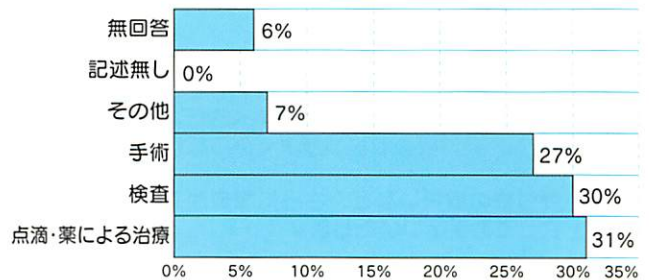


当院での入院は何回目ですか。

選択項目	人数	構成比
初めて	64	58%
2回目以上	35	32%
その他・無効	0	0%
無回答	11	10%
合計	110	100%



今回の入院ではどのような治療を受けられましたか。




「患者さまの声」にお答えします。

大変長らくお待たせしておりましたが、これまでに患者さまから総合受付カウンターのご意見承り箱に投函されました「ご意見」についてお答えします。




I. 承りましたご意見やご要望のあらまし

テーマ	主な内容	合計
待ち時間	受付の改善・待ち時間の短縮などの要望	34
診療	医師の説明、診療技術などの要望	39
設備・サービス	TV、トイレ、駐車場、車椅子、禁煙などの要望	67
投薬	待ち時間の短縮、説明などの要望	15
給食	軟らかい御飯、牛乳ストローなどの要望	4
職員の接遇など	職員の態度などの改善要望	41
合計		200

 待合順番が何分かかるか、番号等で表示してほしい。


他院の状況などを参考に検討したいと考えております。



 外来の看護師さんの呼び出しや会計の呼び出しは声が小さくて聞こえません。マイクを使うなど願います。どこの病院でもやっているのになぜ出来ないのか返答願います。


患者さまをお呼びするマイクの使用については、プライバシーの問題からマイクの使用を嫌われる方が多いため、使用を限定しております。



 救急で運ばれ入院される方の名前、住所、生年月日等の個人情報が待合室や外の方までTELで丸聞こえでした。FAXかメール等で連絡はできないのでしょうか？

救急患者さまについては、一刻を争う場合が多く、かつ、救急隊員の方からの連絡では明確さが要求されるため、プライバシーについての配慮が不十分な面もあったかと反省しています。今後、十分に注意してまいります。



 会計の計算が遅い。又、声も小さくて聞こえません。

受付を担当する職員の教育をさらに徹底します。




II. ご意見・ご要望についての当院のお答え

1 待ち時間について

待ち時間の短縮についてのご意見・要望が多数寄せられております。


当院としましては、オーダーリングの導入などの改善を実施してまいりましたが、今後さらに患者さま本位の医療の提供に努めたいと考えておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

なお、患者さまにおかれましては、次の事情も考慮いただければ幸いと存じます。

 予約の意味が全くない。もっとスムーズに患者を診てほしい。初診者も患者であり、早く来ているので、予約の中に入れ順番にしたらどうですか？再検討してほしい。

予約制が生かされるよう努力したいと思えます。



 ・受付の番号札が全く機能していない。割り込んで来る人を排除すべきだ。
・受付機の取扱いがよく分らない。

受付機の取扱いなど、さらに職員が立会ってお手伝いいたします。



2 診療について

診療などについて、患者さまのお気持ちに十分応えていないことがあるというお声が届いております。

日頃から機会あるごとに患者さま本位の医療をチーム医療として提供する必要を注意喚起しておりますが、皆さま方のご意見をもとに、さらに医療技術のみならず、インフォームド・コンセントの充実を図るよう努めてまいります。

なお、関連していくつかの事例について、当院の考えを述べさせていただきますので、皆さまのご理解を賜りたいと存じます。

(また、患者さまから感謝の投函もいただいておりますが、紹介を省略させていただきます。)



全科の受付時間や診察室の一覧表がほしい。(外来)

全科の受付時間、担当医師の表示については、皆さまに分りやすいものを作成し、パンフレットスタンドに配置致します。



各科の診療(診察)時刻の一覧表を作成していただきたい。午後の診療も知っておきたい。

各科の診療時刻の一覧表を各診療科に掲示してあります。なお、医師の都合で変更する場合がありますので、ご注意下さい。



痛みの治療(ペインクリニック)をしてほしい。ぜひお願いします。

ペインクリニックについては、当院には麻酔科医が1人しかおりませんので、残念ながら今のところ開設予定はありません。しかし、ご希望が叶えられるよう前向きに検討します。



他の病院では自動血圧測定器が何台も用意されておりますが、この病院には一台もありませんね。

自動血圧計は、脳神経外科外待合、外科中待合、内科中待合に設置しておりますのでご利用下さい。



3 設備・サービスについて

身体障害者用駐車場の交通整理など、多くのご要望をいただきました。今回、次の点を改善又は前向きに検討を進めております。



身体障害者マークの駐車を厳しくしてほしい。(例えば健常者の人が停めないように。)

身体障害者用駐車場について、その適正な管理を図る必要があると考えており、とりあえず標識などの新設、改善を行いました。今後も検討してまいります。



車いすのストッパーの部分が壊れているものがいくつもあります。タイヤの空気のないものもあります。

車いすの不具合については、皆さまのご意見をもとに現在週1回の点検を行っています。



・腰掛けトイレが少ない。増やしてほしい。
・採尿するのに洋式トイレは不都合だ。和式を増やしてほしい。

トイレの洋式化については、誠に恐縮ですが、現況以上の増設は困難ですのでご理解願います。お困りの時は、当院職員に気軽にお申し出下さい。



正面の傘立て、傘が取れなくなった方3名。入れ方の表示がない。

傘立てについては、週1回点検することになりました。



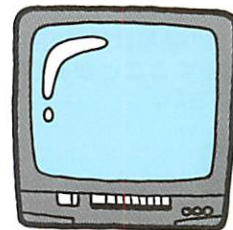
休日の日でも売店か食堂の営業をしてほしい。(面会に来ても都合が悪いので。)

売店、食堂に関するご要望につきましては、できるかぎり配慮いたしたいと考えています。



テレビ台が低いので、カウンター位の高さにしてほしい。

エントランスホールのテレビにつきましては、少し高い位置に設置しました。



済生会のホームページが長い間アップデートされていないと思うのですが。

当院のホームページを更新いたしました。今後も、できるだけ速やかに更新してまいります。



入院するために、荷物をたくさん持って来ているにもかかわらず、検査に行かされた。せめて荷物用カートぐらいあれば良いのに。

入院される方のために、荷物用カートを用意する予定です。





喫煙、携帯電話のマナー、冷暖房の管理（寒すぎる。暑すぎる。）

喫煙問題、携帯電話、冷暖房などの件については、ただ今検討中ですので、しばらくお待ち下さい。



4 投薬について

投薬についてのご意見・要望について、次のとおり考えております。



薬を早く出して下さい。

投薬の待ち時間については、患者さまの数、時間帯などによって変動が生じますが、今後とも患者さまの安全を基本に、なるべく迅速な処理をまいります。



薬の袋が大きい。紙のムダ使いと思う。量にあった袋を大小使うと良いと思う。

薬袋のご要望は、遠慮なさらずに係員にお申し出下さい。



自分の番号を飛び越えて次の人の薬が先に出され、腹が立った。

お出しする薬の番号は処方内容によって順番が前後することがありますので、ご理解下さい。



5 給食について

給食に関するご意見・要望についてお答えします。



入院患者の食事について、もう少し数多くの食材を使ってほしい。もっと変化があり、食欲がない中でも少しでも食が進む献立にしてほしい。それと、ご飯の量ばかりでなく、カロリーも表示してほしい。

易消化食（何分粥、胃潰、術後食等）、特別治療食（腎臓食等）の献立は、使用できる食材・調理法が限定される事もあり、料理が単調になりやすいのが現状ですが、今後は季節感のある食材・盛り付け等にも気をつけ、食欲が出るよう努力したいと思います。個々に配布されます食札は、スペース上、栄養表示まですることは難しいと思われま。常食を喫食されている患者さまには、栄養表示をした週間献立表を掲示させていただきます。



ご飯が固いです。柔らかくお願いします。柔らかめと書いてあってもマジ固いです。柔らかくして下さい。

ご飯の柔らかさは、一般の家庭より柔らかめのご飯にしておりますが、更に柔らかいご飯をご希望される患者さまには、より柔らかめのご飯を別釜で用意したいと思います。



牛乳パックのストローを挿す所が中々開かないというかはぐれないので、いつも四苦八苦している患者です。

業者と改善策について検討しましたが、現行以上に容器のストロー口の切り込みを深くしたり、紙層を薄くしますと、牛乳の漏れにつながるおそれがあり、衛生上問題がありますので、現行以上の容器の改善は難しいようです。



6 職員の接遇など

職員の対応につきましても多くのご意見を賜りました。日頃から研修などの機会をとらえて自覚を促しておりますが、お言葉を真摯に受け止め、さらに改善に努めます。



・スタッフがとても不親切！感じ悪いです。
・看護師の名札は左胸にきちんと患者から見え、確認できるようにするべきです。

職員の名札を分かりやすいものに改めました。なお、名札のヒモの色別は次のとおりです。

- 緑→医師
 - 赤→看護職員
 - 黄→医療技術職員
 - 青→事務職員
 - 黒→環境保守職員
 - 灰→当院に許可を得て出入りしている方々
- また、主な場所ごとに職員の写真を掲示しました。



ご意見に対する回答については、院内の掲示板でお知らせするか、広報誌の中で回答してゆきます。



全国済生会病院長会開催



平成16年度全国済生会病院長会が8月20日（金）に富山県済生会富山病院の担当により台風の余波による悪天候の中、富山全日空ホテルで開催されました。済生会本部をはじめ、北は北海道から南は鹿児島まで全国の済生会病院長69名が参加されました。会議では、最初に当番病院の辻院長の挨拶、その後全国済生会病院長会の角田会長、本部西本理事の挨拶に続いて会議が始まりました。議事に入り、会長から前回の山形市での総会から現在までの主な行事（三条市、福井市の集中豪雨に対するお見舞いの報告等を含む）についての報告がありました。その後、本部西本理事より、1.本会の障害者の雇用について；2.ボランティアの受け入れについて；3.非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用について；4.DCP（診断群分類包括評価）導入の影響評価に係る調査について；5.済生会医師確保対策プロジェクトチームの設置について；6.健保連WEBサイト「ぼすびたる」への参加について報告と説明がありました。

引き続き委員会報告に入り、総務委員会は藤森委員長、経営管理委員会は原澤委員長、会報委員会は原委員長、学会委員会は早野委員長からそれぞれ報告がなされました。

続いて、須古副会長よりDPCへの済生会としての参加についての説明があり、最後に吹田病院の安野院長から、平成16年度全国福祉医療施設大会の開催に関する報告がされました。

場所を移して名鉄トヤマホテルで講師に九州大学大学院医療システム学教室教授の信友浩一先生をお招きして、「苦労の報われる病院づくり」を演題に講演が行われました。講演では職員は病院に夢を持つこと；夢と現実とのギャップを認識すること；その夢の実現のためにいろいろな行動計画を考えることなど有意義な提言がありました。

再び場所を富山全日空ホテルに移しての懇親会では、辻富山病院長の開宴挨拶のあと、富山県が誇ります越中八尾おわら風の盆で踊られます「おわら踊り」が、富山県民謡おわら保存会の13名の方々によって演じられました。哀愁を帯びた三味線、胡弓の音色に合わせ、ホタルを追う所作を採り入れた優美な女踊り、稲刈りの所作を表した勇壮な男踊りと豊年踊りが次々と舞われ、出席された皆様は一時、越中路の秋の風情に触れられたようでした。

盛大な拍手の鳴り止まない中、角田会長の挨拶に続いて豊島名誉会長の乾杯のご発声で歓談が始まり、終始なごやかな談笑の声が聞かれるなか、最後に古瀬副会長の中締めの万歳をもってお開きとなり、これにより病院長会の全日程が無事に終了しました。

総務課
南沢 宏

瑞寶中綬章を受けて

済生会富山病院長 辻 政彦

富山県立中央病院名誉院長
富山医科薬科大学臨床教授



皆様のお陰で平成16年春の叙勲で瑞寶中綬章を頂きました。思い起こせば金沢大学付属病院から昭和49年(1974年)に請われて富山県立中央病院に赴任し、狭隘老朽化の病院ではありましたが、初めての自由で広い仕事場を与えられた自分にとって大海に泳ぎだす如く臨床に没頭するうちに、自分の適性は“これだ”と確信しました。

それ故に、勢いはあるが荒々しく、未熟で激しいだけの自己過信の押し付け医療が始まりました。

その頃は、市民病院、日赤病院に追いつけ追いつけの思いが強く、病む人やスタッフの心も見えない、ただ厳しさだけの毎日。いまにして思えば恥ずかしい限り。それでも諦観し苦悩する病む人を見て、疑問と反省の心が芽生えたころ“先生には弱い人の気持ちかわかりますか?”とある看護師さんから語りかけられ、目からウロコが落ち愕然。最も大切なものを忘れていた事に気付きました。

挫折して成長し、危機に際しての自省の中から己を知る。気付かぬうちに多くの方々に援けられ生かされていた自分。体験し、病む人から学び教えられることの多さに驚きました。

去り行く人からのメッセージから学び、恕(ゆる)されて体験し、必ず生かさせて頂くと誓いました。更に求められて感激し、苦しくもフツフツと沸き立つ心のエネルギー。求められて明日を生きる勇気が生まれてきました。

1984年からの富山県立中央病院将来構想委員会での十分な検討をへて、1987年11月基本構想が示されました。

- 1.がん、心疾患、脳血管疾患等を克服するセンター病院
- 2.患者本位の医療が行われ、患者本位の施設が整備された病院
- 3.全国自治体病院で初めての緩和ケアの実施
- 4.和漢診療の充実
- 5.システム化・効率化された病院を目指す。

1989年11月改築に着手。工事期間7年を要し多くの問題を解決しながら、1992年に中央病棟、1995年5月には診療棟が完成し、810床の大規模病院の完成を見ました。

1975年には富山医大の開設とともに、教育関連病院として臨床教育実習が開始され、その学生の数は2,200余名に及びました。

その間最善と限界を求めめる天職としての外科医として、齢を重ね全身麻酔手術症例も5,000例におよび、ただひたすらに今日を生き続けているうちに、今叙勲を受けることができました。生涯、自分はあらゆる人たちから援け支えられ教えられているのだと思います。共に苦楽を共にし、今日まで私を育ててくれた富山県立中央病院のスタッフ、関係者の皆さん、関りあった患者さんや家族、そして私の祖先の家族に心からの深い感謝の念を捧げたい。今日私に与えられた栄誉は本来、私を育ててくださった皆様とお受けするにふさわしいと信じて止みません。幸いにも平成12年から引き続き済生会富山病院に仕事場を与えられ、温かく受け入れられて幸せです。

今、心技体充実し“今日も新たに明日に夢を”と生涯現役の心を持ち続けられる喜びがあります。現在、済生会富山病院は全職員が連帯感を持って明るい明日を目指し、困難な諸問題に取り組んでくれています。これを乗り越えてこそ、明るい明日と脱皮し成長した病院と各々の自分があると思います。

一層の発展を祈念し、協力をお願いいたします。





辻院長叙勲祝賀会盛大に開催される

春の叙勲で、瑞寶中綬章の榮に浴された本院の辻政彦院長の叙勲記念祝賀会が、去る7月15日、本県内・外の医療関係者の呼びかけにより、富山市内のホテルで医療界、関係大学医学部、経済界などから430人の方々が出席され盛大に開催されました。

当日は、辻院長、和子様ご夫妻に対し中沖豊富山県知事・富山県済生会会長からのご祝辞(大永副知事代読)を始め、長勢甚遠衆議院議員、野上浩太郎・広野允士・河合常則、各参議院議員、篠川賢久富山県医師会長、渡邊洋宇金沢大学副学長(医学担当)、小野武年富山医科薬科大学長から、辻院長が外科医として県内医療の充実発展に尽力された長年の功績と、奥様の文字通り一心同体となった内助の功に対し、賛辞と感謝の言葉が述べられ祝宴に入りました。

出席者からは、辻院長の富山県立中央病院での26年間を中心とした46年余の外科医としての実績について、その卓越した知識・技術をもって昼夜の区別ない献身的な診療により、5,000例に及ぶ手術、2,200人に及ぶ外科医を志す研修医等の臨床教育実習など数多くの功績に対して感謝の言葉が相次ぎました。

特に食道・膵臓外科の分野で多くの人命を助けられたことについて、高く評価され今回の受章に結びついたというのが、衆目の一致するところでした。

辻院長は、出席者の皆様に対し「病む人から学び、恕(ゆる)され、癒されてきた。生涯現役で天職として医師の道を極めたい」と決意を述べられました。出席者からは、70歳を過ぎた今もお長時間の手術を当院で行っておられる姿に、改めて驚嘆と賞讃の声が寄せられていました。

私も偉大な医師の壮大なロマンに触れ、深い感銘を受け、心洗われた一日でした。辻院長のますますのご活躍をお祈りします。

事務部長
森田 力

睡眠時無呼吸症候群

(sleep apnea syndrome:SAS)

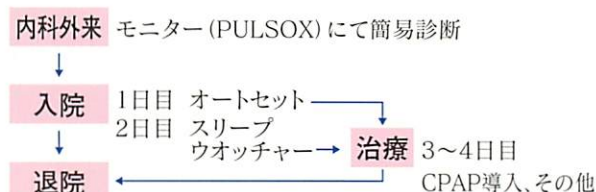
眠っている間に呼吸が止まる 気が付きにくい病気

睡眠時無呼吸症候群とは

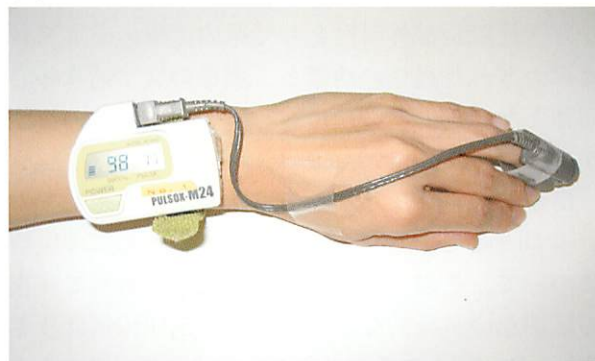
睡眠時無呼吸症候群(以下SAS)は閉塞性と中枢性(心不全や脳卒中後にみられる)に分類されます。SASの大半は閉塞性SASにより占められており、これからは閉塞性SASについて述べます。閉塞性SASは夜間睡眠中に咽の奥が閉塞し、数秒から1分以上呼吸が停止し、その後呼吸が再開することを繰り返します。SASの症状としていびきや起床時の頭痛、日中の眠気や倦怠感があります。昨年、JRの居眠り運転が問題となり新聞、テレビに報道されたことは記憶に新しいと思います。ときに胸部不快感、夜間頻尿、朝の咽の渇き、痛みという症状で来院される患者さまの中にSASの方が含まれている場合があります。身体的には高血圧や脳卒中などの動脈硬化性疾患の合併症があり、さらに勤労意欲、作業能率、学習能力の低下、交通事故、労働災害や子供の心身発育異常の原因にもなっており、社会的不適応の原因として重大な社会問題にもなっています。

アメリカでは「目覚めよアメリカ!」というキャンペーンにより早くから国家的にこの疾患に取り組んでいます。わが国でもSAS患者は120から200万人と推定されています。SASは乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層にみられ、特に中年以降の男性の2~4%、女性では0.5~2%に本症候群がみられると考えられています。ただし、男性では20代、30代の男性でもみられ、どの年代でも注意が必要です。女性は男性にくらべ一般的に少ないようです。受診率は年々増加していますが、まだ少ないように思われます。結婚されている女性は是非、旦那さんの寝ているところを観察してください。疲労が強いときや、飲みすぎのときにはいびき、無呼吸はひどくなります。高齢者では入れ歯など口腔内ケアが必要なこともあり、無呼吸は無視できません。また、肥満が特に問題にされますが、高度肥満の方だけの病気ではなく、正常あるいは肥満傾向のかたもかなりの率を占めます(体重だけで判断してはダメ)。

SAS検査の流れ



当院では内科外来で問診や簡単な検査を行います(難しいことはありません。まず、気楽に内科外来に相談に来てください)。モニター(PULSOX: 血中の酸素飽和度を測定)を貸し出し、夜間に繰り返す低酸素状態が認められれば日程をご相談し入院してSAS検査を行います。入院期間は検査のみの場合は二泊三日で行います。SAS検査は通常夜に行い、夜の8時過ぎに当院の技師が患者さまの部屋へ直接伺いSAS機器を取り付けさせていただきます。患者さまにはなれない環境、体に機械のコードをつけての睡眠ですので違和感を持つ方もいらっしゃいますが患者様に納得していただける説明を行い、「医師、看護師、技師」が24時間完全バックアップしています。入院中はSAS検査のみならず心疾患、糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病全般についても検査いたします。さらに、場合によっては耳鼻科、歯科の検査治療も行います。



パルスオキシトメーター (PULSOX)
外来にて行っています。



オートセット (AS)
入院一日目に行います。
(場合により外来で行う時もあります)



スリープウォッチャー (SW)
入院二日目に行います。

SASの治療

SAS検査によって無呼吸—低換気指数：AHIがわかります。これは睡眠中の1時間あたりの無呼吸の回数と低換気（換気50%以上の低下、酸素飽和度の4%以上の低下）を表す指標です。5以下を正常、5～20を軽度、20～40を中等度、40以上を高度とします。さらに、脳波から睡眠の状態(眠りの深さ、覚醒状態)の評価します。それらを総合して患者さまにあった治療方針がたてられます。

1. 経皮的持続陽圧呼吸療法 (nasal-CPAP)

鼻マスクから気道に空気を送り込み気道の閉塞を防いで、無呼吸状態を解除することを目的としています。重症のSASでは長期に、継続してnasal-CPAPを使用する必要があります。

2. 食事・運動

気道付近についた脂肪を取り除き睡眠中の閉塞を防ぎます。また、他の生活習慣病の予防・治療にもなり、さらにストレス解消にもなります。

3. 歯科：マウスピース

専門の歯科医にオーダーメイドで作成してもらいます。下顎が上顎より少し前方に固定されるようにデザインします。2004年4月から保険適用になっています。

4. 耳鼻科：口蓋垂軟口蓋形成手術

まとめ

日本人特有の顔の骨格と飽食による肥満傾向によりSAS患者が増加しています。前述したごとく、心・血管障害の進展と数々の社会的不適応を起し、きわめて重大な社会問題となっています。SASの治療は日中の眠気などの症状をなくし合併症を予防し改善することを目的としています。適切な治療が必要ですが本人は無呼吸であることをほとんど気が付いていないことが多いため疾患としての意識が薄く、受診には家族や周りの人々の協力が必要です。(気が付きにくい病気。でも重大な合併症を引き起こす。)

以下の項目に心あたりがありませんか。

- ①毎晩、大きな激しいいびきをかきますか。
- ②睡眠中に、「呼吸が苦しそうだ」あるいは「呼吸が止まっている」と指摘されたことがありますか。
- ③朝起きたとき、疲れが残り、頭がスッキリしないことがありますか。
- ④朝起きたとき頭痛がしますか。
- ⑤昼間、我慢できないほど眠くなることがありますか。
- ⑥肥満の傾向はありますか。

臨床検査科
下司洋臣
内科
井内和幸



職員の接遇研修会を受講して



さる6月22日、「接客から学ぶ人間関係」と題して、講師に名鉄トヤマホテル参与小林卓二先生をお招きし、研修会が実施されました。

まず第一に挨拶。「一日は礼に始まり礼に終わる。仕事始めの準備運動として、おはようございます・こんにちはと明るい挨拶を交わします。挨拶は、時計に例えればすれ違う時に6時5分の角度・朝礼では6時15分の角度」と話されました。

当院においても全ての人(職員・患者さま及び家族・その他の人)にすれ違う時や、眼が合った時は挨拶するように心がけています。そうすることにより一日の仕事を明るく、気持ちよく果たすことにつながっています。

第一印象は、15秒で決まります。目線をあわせ笑顔(1+1=2で笑顔・目は笑う練習を)で対応と話されました。

表情は、相手に心地よさを与える入り口です

そして、さわやかな笑顔は相手に心地よさを提供します。だから、『笑顔』と『アイコンタクト(視線を合わせる)』を心がけ、自分の一番良い笑顔を意識していくことが大切です。

また、身だしなみは、出会いにおけるファーストコンタクトです。出会う全ての人たちは、出会った瞬間に飛び込んでくる「身だしなみ」という情報で、その人の人格を印象づけます。そして、ひと

たび規定された印象はその真偽にかかわらずなかなか変容しません。頭から爪先まで百点になるよう心がけたいと思います。

患者さまの求めているのは、心温まる安心できる病院です。職員一人一人が、患者さまの状態をよく観察し個別的な働きかけを心がけ「今日は元気がありませんね」などの会話中、おや?と思うことを尋ねた時、「そうなんです、実は」と始まり、意外な情報を得たり、病態と結びつく生活状態がつかめたりします。「そうなんですよ」と返事が返ってきた時、私の思いを聞いてくださいという患者さまの気持ちが溢れ出てきて、安堵感がお互いの間に流れるのを感じることができます。このように『きっかけ』が必要です。

最後に、小林先生より、『咲く花よりその花を咲かせる土になって下さい』病院のため自分のためにと、メッセージをいただきました。

私たちの病院を選んでくださる患者さまに、『患者さま本位の心温まるすぐれた医療の提供を心がけましょう』。

看護部

谷内絹枝

済生会富山病院 ボランティアについて

ボランティアについて、定義だ何だと難しい事を言うのはここではよしましょう。

先日、福井の水害の折、山岳遭難で地元住民に助けられた大学の山岳部員が、現地に駆けつけ災害救助を行ったとの新聞報道を読みました。誰もこれを予期して救助に当たった訳ではなく、又誰に頼まれた訳ではなく救助に向かう。それは見えない力につき動かされての事でしょう。

最近、新聞紙面でもボランティア募集の記事をよく目にします。誰もが気軽に助けを求め、誰もが気軽に求めに応じる。我が富山県済生会富山病院でもその精神に則ってボランティア活動を戴っていますが、その経緯をここにご紹介いたします。

平成9年1月、この地に移転後、何か以前とは違った地域との繋がりを身近に感じたのは私ばかりでなく、「地域に根ざした病院を」と誰もが感じながら月日が経っていきました。

そんな中、「ボランティアの力を借りては」との機運が院内に高まりボランティア準備委員会が設立されたのが平成11年の7月の事でした。

この間、募集に先駆け「折角、地域に病院が出来たのだから、少しでも役立ちたいのでボランティアを」との申し出をいただきました。地域の人々はこの病院を、この地で、ご自分達の力で確り受け止め、大事に育ててやろう、そのために手を貸してやろう、と思って下さるのを肌で感じ意を強くいたしました。

遅きに失した感もありましたが、今、ボランティアを迎える機が熟し、今が好機と確信いたしました。

準備委員会も2回、3回と回を重ねる内、名称もボランティア推進委員会に変更。

それからは委員会の進行にも弾みがつき、遂に10月27日には、ボランティア結成式を行うまでに至りました。

地域の皆様の思いと、我々職員の思いが、ボランティア結成式という一つの形を結実したのです。

患者さまからは非常に好評で「ボランティアさんの姿が見えないと寂しい」「ボランティアさんのいらっしゃる日に受診日を変更したい」などうれし

い声が寄せられるようになりました。何せ、最初は4名のボランティアで出発したものですから、曜日によっては空席になりご期待添えない事もありました。

ピンクのエプロンも好評で、私もと名乗り出てくださる方が次々あり、中には男性も。

男性にピンクのエプロンは、と頭を捻りましたが以外にしっかりと…。

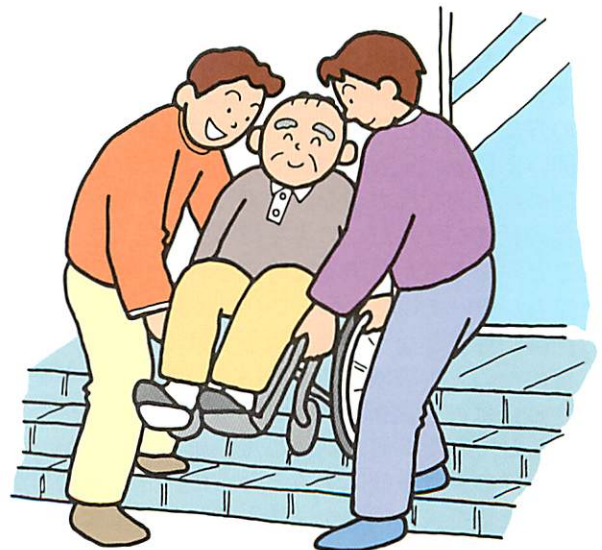
職員の眼は、環境に慣らされていますが、ボランティアの眼は新鮮で患者さまの立場に立った改善点が洗い出される結果となり「そんな事が患者さまの心の負担になっていたとは」「そんな事で不自由を感じていらしたとは」そんな類の事が数々あります。ご指摘は極力改善に努めますが、物理的に困難な事も有り歯がゆい思いも致します。

この他にも、院内音楽会に賛助出演を戴いているグループも多々あります。取り分けお忙しい皆様は何故、との思いもありますがこれがボランティアの真骨頂とでも申しましょうか。共に求め合うものの中に、人の心を動かす力が生み出される。その力がお互いの力となり力の連鎖ができる。それが自発性、無償性、社会性もしくは利他性といわれる所以なのではないのでしょうか。

今日も各所でボランティアが求められています。小さなボランティア、チョコボラ。

あなたも始めてみませんか。

医療社会事業課
中田みち子



学術講演 済生会富山病院、医療安全管理体制の取り組み

副看護部長 佐竹純子 (済生会富山病院医療安全管理委員会副委員長)
平成16年7月30日(金) / 済生会富山病院 研修ホール

先日実施しました職員の皆様への医療安全管理のアンケート結果とご意見から、まずは1.国としての医療安全管理対策をめぐる経緯から専任リスクマネージャーの役割について；2.インシデントの報告が何故必要か；3.病院長任命によるセフティマネージャーの役割についてお話をさせていただきます。

1.わが国の医療安全管理対策をめぐる経緯から専任リスクマネージャー(以後、GRM)の役割について：私の経験より

平成11年、横浜市立大学附属病院の患者取り違え事故を契機に医療界の安全管理対策の取り組みは大きく変わり、見えてこなかった医療事故が次ぎ次と報道されました。その結果、医療事故の分析が「責任追求」から「原因追求」の取り組みとされ医療事故を「組織事故」として捕らえられるようになりました。そして、医療安全について大変な関心の高まりを見ることとなりました。

そこで、患者さまの安心と病院への信頼を得るために安全(Safety)は病院にとって医療の質の中で最も重要なこととされ病院が取り組むべく最重要課題にて、単に医療事故防止対策にとどまらず「医療の質」の向上に努めることとされました。

平成13年4月、医療安全管理の取り組みを病院全体として組織の壁を越えて確実に実施に移すために、医療安全管理を専任で担当するリスクマネージャーを各大学42名配置しました。そのGRMに病院長直結の任を果たす活動が求められました。その重要な責務を課せられたGRMが何故、看護師長であったのかを少しお話しします。

なお、今回、富山医科薬科大学附属病院で、私がGRM3年間の活動をお話することについて、小林院長と医療安全管理室長の遠藤副院長にご承諾いただきましたことを申し添えさせていただきます。

当時、各大学病院のGRM1年目の私達はその任を受けて文部科学省主催の研修会に望んだ際、文部科学省の方に「GRMが何故、医師ではないのですか…」と伺いました。医療安全管理には当然なことですが、医師の絶対的な協力がないと実行できません。看護師長の私達がどれだけの力を持って先生方を動かせることができるかと思った時、それは前途多難な道と誰もが思いました。そこでのご返事は、「現時点では医師が専任となって取り組む事は現状では無理な状況のため、組織横断的に動いていただける事を期待するには、看護師長にお願いするしかない…」とのことでした。何か納得し難い返答でしたが、改めて責任の重さを痛感するとともに、先に進むしかないと感じを決め活動を開始しました。主な役割と

して、医療安全管理を円滑に行なうために病院全体の安全管理を専任で担当し、組織横断的に活動すること、主な業務として1.インシデントの再発に関すること；2.重大なまたは、部門を横断するインシデント発生後の対応と、調整(問題解決の支援)に関すること；3.啓蒙・啓発(教育・研修)に関することです。

そんななかで当初、GRMの私は時に職員の皆様にとっては「煙たい存在」であったようです。と言いますのは、ある部署からインシデントの発生や患者さまからの苦情の報告を受けましたさいには、それに関係ある診療科や部署に状況確認に伺い、必要ならばインシデント報告書の提出をお願いしていました。このこのことが、職員の皆さんにとっては何か「責められている」と思われたようでした。そのため私自身避けれるものなら避けて通りたいと思うこともありましたが、しかし避けること自体がリスクであると思い、出来る限りの事実の確認に努め、原因を分析し対策を講ずることに努めました。一部の情報だけでは曖昧な部分もあるので事実確認が重要です。「危険情報の収集」は事実関係を明確にし効果的な原因・分析・対策のプロセスの展開となり、さらには「誤りから学ぶ」という医療安全管理対策に対する意識改革につなげる実践活動です。時に誤りを生かすために厳しい助言や意見を申し上げたときもありました。リスクを対処することに逃げないこと、怖がらないことを心がけてきましたが、「心の矢は石にも立つ」のことわざの如くには、ことが運ばないときもありました。

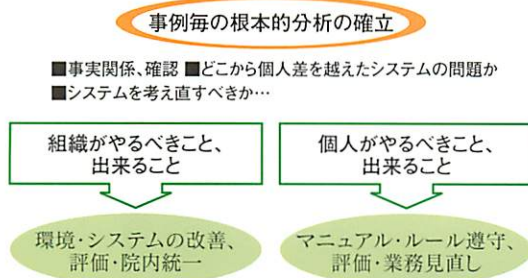
また、GRMは患者側の弁護をする立場ではありません。患者さまを支えて中立の立場で医療従事者を支援する病院のGRMです。そのことを職員の皆さんに理解していただくことは、組織横断的に医療安全管理活動を実践していくために先ず重要なことでした。そこで、真実を追い求めるがゆえに「どこか孤独なGRM」を支援して下さったのが病院長でもあり、副院長の医療安全管理室長でした。医療安全管理対策の取り組みは院長の強いリーダーシップのもと全職員一丸となって取り組むべき最重要課題です。取り組みは試行錯誤の状態であるように実行できず一歩づつでした。トラブルによっては即、判断を要するときもあり責任の重さを痛感しましたが院長と副院長



の指示のもと円滑な業務遂行を心がけ、また必要時、看護部、事務部への報告を行ないました。私が各診療科、各部のリスクマネージャーの皆様から存在の必要性を認められていると、確かな手ごたえを多少なりとも実感できるようになりましたのはGRM3年目のときでした。確実な医療安全管理の取り組みの活動を実践していくには専任のリスクマネージャーは是非必要です。当院におきましては、まだ配置は困難な状況ですが、私の経験を生かして安全対策を実践していきたいと考えています。

図1は安全管理体制の取り組みの基本的な考え方で、当院においてもこのことを基本として実践していきたいと考えています。

図1:医療安全管理体制の取り組み



2.インシデントの報告が何故必要か

このことについては、今さら私が説明するに及ばない事と思いますが、当院ではまだ、インシデントを報告することを評価する意識が低いと思います。しかし最近、私はとても感心しましたことは、医師のインシデントレポートを是非お願いしたいと申し上げましたところ早々数枚報告がありました。小規模病院として各部門、各職種が支えあい協力することを、私が考えていました以上に望めるのではないかと思います。皆様いかがでしょうか？尊い命を預かる医療の現場で患者さまに「害」を与えないために、見えないことを見えるようにし「誰 (who) がではなく、何(what)がインシデントを起こさせたか」を分析するために、インシデントを報告することを評価する組織風土作りに取り組むたいと考えます。

また、インシデントの要因は病院を超えて共通していると「ヒヤリ・ハッと11,000事例によるエラーマップ完全本」で川村治子氏は述べています。そのことは私も実感していますが、当院の具体的な問題を明確にして全職員で情報を共有し具体的な対策を実



践していくためには、インシデント報告書が不可欠である事を認識していただきたいと思います：一因は紙の報告書にあり！

インシデント報告書の意義

- ★インシデントをレポートする事ではない。
- ★リスクを完全になくすることはできない。

さらに、医療大病院で一つづつと心がけて取り組んだことの1つにインシデン事例検討会の開催でした。医療安全管理室長の司会のもと、発表者はリスクマネージャーに依頼しました。発表内容においては、発表者、室長、GRMと検討しました。検討会の場では具体的な対策の決定は難しいですが、まずは院内全体で1つのことを意見交換することに意義がありました。会を重ねてから参加者へのアンケートを行なったところ、その評価結果から開催の意義が浸透した事が伺え、私は医療大病院での医療安全管理対策の取り組みにおける一つの山を乗り越えたかと、実感しました。当院においても是非、開催したいと考えています。

3.病院長任命によるセフティマネージャーの役割

現在、当院の各部署の現場において医療安全管理の中心的な役割を担って頂いているリスクマネージャーをセフティマネージャーと改正し改めて病院長より32名任命していただくこととしました。その主な役割は 1.各部署における医療安全管理の責任者であること 2.インシデント発生時の現場での適切な対応 3.インシデントの積極的な提出の励行 4.医療安全対策委員会等で決定した安全対策に関する事項のスタッフへの周知徹底、各部署との連絡調整です。

また、医療現場の宿命的な特有の「危険要因」の存在も認識し、それを完全に取りさることは難しい要因であることも理解して、エラーの結果が重大なこととならないよう対策を講じていただきたいと思います。セフティマネージャー各々が協力し連携して医療の質そのものの向上を目的とした活動を実践していただきたいと思います。

最後に患者医療相談の対応についてお願いします。平成15年4月、患者さまからの相談に適切に応じるために特定機能病院において「患者様医療相談窓口」の設置が義務化されました。医療安全管理対策の取り組みの一環として医療相談の対応は重要な課題です。患者さま、ご家族の声には真摯に耳を傾けて、「誠意」をもって「謙虚」に苦情に適切に対応する事を全職員の皆様に心がけていただくことをお願いします。



学術講演

電子カルテシステム稼働5年の実績 — 評価と今後の展開 —

清水史郎先生(島根県立中央病院副院長)
平成16年6月18日 済生会富山病院研修ホール



講師紹介

清水史郎先生は1970年京都大学医学部の御卒業です。1975年より金沢医科大学において血液・免疫内科学を専門に最先端の研究活動と治療に従事されていました。また情熱的な医学教育と指導でも高い評価を受けておいでです。1996年に創立50周年を迎える島根県立中央病院に統合情報システム(電子カルテシステム)の開発導入責任者として赴任されました。3年間の開発期間を経て1999年に新病院設立と同時に電子カルテシステムの導入を成し遂げられました。現在、島根県立中央病院は電子カルテシステムが稼働する先駆的モデル病院として注目されています。

講演内容

まず、実際に電子カルテシステムが稼働する島根県立中央病院の診療現場が紹介されました。ここでは情報の電子化により紙カルテやレントゲン写真が廃止されたペーパーレス、フィルムレスでの運用がもたらす利点と問題点、さらには問題点を解消する対応策が提示されました。次に総合情報システム(電子カルテシステム)による業務改善の目的を1.医療の質の向上;2.病院管理運営の効率化;3.患者サービスの向上の観点から基本理念と開発の経過をきめ細やかに解説していただきました。これらの3点に対しては、電子カルテシステム稼働後の現状と評価を種々の興味深い事例と

客観的な指標によって解説していただきました。

次なる内容は財務の視点から見た電子カルテシステムでした。

電子カルテシステム稼働後に影響があった財務指標の解析により財務の明らかな改善と効率化が見られ、巨額の開発経費を要する電子カルテシステムの減価償却前の収支の均衡(黒字化)が達成できたとのことでした。紙カルテやレントゲン写真などの廃止に伴う物資や省力化がもたらす財務の効率化よりも医療の質の向上や患者サービス(顧客満足度の向上)がもたらす財務効果の方が遙かに高いことを示す事例と指標には驚きをもって聞き入ってしまいました。最後に電子カルテシステム機器と機能の更新計画、現在行われている地域連携ネットワークシステムの拡張と深化計画など統合情報システムのさらなる展開を紹介され、講演は終了いたしました。

先生の講演は電子カルテシステムを独自で開発し、導入・稼働を成し遂げられた経験に裏付けられた説得力に溢れるもので、参加者全員に感銘を与えるものでした。今回の講演には電子カルテシステム導入を計画する県内近隣の公的病院5施設からも多数の参加があり、いずれ導入されることになる電子カルテシステムに思いをはせる講演となりました。

研究研修部
松能久雄

社会に学ぶ14歳の挑戦



平成16年7月5日から5日間、富山市立岩瀬中学校2年生の男子4名が当院で体験学習「社会に学ぶ14歳の挑戦」を行いました。

14歳の履歴書には学級での係・委員会活動・趣味特技・自己PR・自分の活動目標等が記入しており、活動目標として

- ・社会人としての常識を身につけたい
 - ・働くことの大切さや職場の様子を感じたい
 - ・目上の人に対する話し方に気をつけたい
 - ・挨拶をしっかりとできるようになりたい
- の4点があがっていました。

患者さまのプライバシーを守ること、そして担当者の指示に従うことの2点を守り、病棟では、療養環境の整備・シーツ交換・食事入浴介助・車椅子搬送・血圧測定を体験し、集中治療室内の

説明・見学も行いました。

当初は表情も硬くとても緊張している様子でしたが、活動目標である挨拶は努めて元気よく行おうとしている様子が見受けられました。患者さまとどう接し、何をすればいいのか戸惑う姿も当然ありました。しかし環境整備など行いながら、なぜ必要なかを理解してゆくに連れ積極性も出てきたように感じました。最後には「患者さんと仲良くなりとてもうれしかった」との言葉も聞かれました。

感想文の一部を紹介させていただきます。

「僕がこの『14歳の挑戦』で学んだことはたくさんあります。初めにこの場所に来たときは本当に何をしたいのかわからなくて、“患者の人達にもどういう風に接してあげればいいのか”とばかり思っていました。だけど患者の人達にあいさつをしていくうちに段々と接し方がわかったような気がして、人との関わりはあいさつから始まるのだなと思いました。」

「集中治療室の人の話が心に残りました。『けがをするのも人間だけど、それを治療するのも人間だ』と言って、人間とはすごい生物だなと思いました。僕は人を助ける仕事はとてもすばらしい仕事だと思います。この貴重な体験を大切にしていきたいです。」

看護部

日南田千賀子

済生会小史

明治44年2月11日、明治天皇は時の総理大臣、桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施業救療し済生の道を弘めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜されました。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って、同年5月30日恩賜財団済生会を創立しました。以来今日まで93年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実、発展に必要な諸事業に取り組んできました。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人恩賜財団済生会となっています。

名誉総裁 高松宮宣仁親王妃喜久子殿下

総裁 寛仁親王殿下

会長 豊田章一郎

理事長 幸田正孝

本部＝東京

支部＝41都道府県

病院	78
診療所	13
介護老人保健施設	25
老人福祉施設	52
児童福祉施設	21
身体障害者福祉施設	4
老人デイサービスセンター	40
老人介護支援センター	54
看護師養成施設	10
訪問看護ステーション	40
その他	10
合計	347

さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の68島の診療活動に携わっています。

職員数は全国で約3万6千人（03/3/31現在）

「済生」2004年4月号

Vol.80 No.4より引用

第26回北信越ブロック予選 済生会ソフトボール大会



平成16年5月23日(日)、福井県松岡町総合運動公園youmeパークにて、第26回全国済生会ソフトボール大会北信越ブロック予選が開催されました。心配されていた天気でしたが、当日は五月晴れ、絶好のソフトボール日和となりました。この大会は、昭和53年から毎年行なわれ、優勝チームは北信越代表として全国大会に出場します。他の病院と親睦を深め、情報交換をする場でもありますが、全国大会出場の権利、各病院のプライドを賭けて真剣勝負する場でもあります。北信越ブロック出場するチームは、新潟第二病院、三条病院、富山病院、高岡病院、金沢病院、福井病院の6チームです。

試合形式は、参加6チームを抽選によりA・Bの2ブロックに分け、対戦はブロック内3チームの総当たりで予選リーグを行い、各ブロックの1位同士で優勝戦を行ないます。また、特別ルールも設定されています。

〈特別ルール〉

1. 試合中の選手編成は常時男子5名、女子4名とし交代する場合、男子は男子、女子は女子と交代しなければならない。
2. 守備位置は男女自由とするが投手は女子のみとする。
3. 院長、副院長、事務部長、看護部長または50歳以上の選手が必ず初回に出場し、1打席以上、1イニング以上の守備につかなければならない。
4. 上記の出場条件を満たさない場合はペナルティーとして相手チームに3得点与える。

今大会は、Aブロックが福井病院、高岡病院、三条病院。Bブロックが富山病院、金沢病院、新潟第二病院という組み合わせになりました。我が富山病院の試合結果は、対新潟第二病院戦では、激しい打撃戦の末、勝利しました。対金沢病院戦では、守備の乱れから大量失点し、攻撃でも相手投手を攻略できず大敗。1勝1敗で予選リーグ敗退の残念な結果となりました。Aブロックは全勝で福井病院、Bブロックも同じく全勝で金沢病院が決勝戦進出しました。決勝戦では全国優勝経験のある福井病院が危なげない試合運びで勝利、25回目の優勝を飾りました。

医事課
杉瀬 啓

試合結果

Aブロック			
第1試合	福井病院	13対0	高岡病院
第2試合	福井病院	6対0	三条病院
第3試合	高岡病院	1対9	三条病院
Bブロック			
第1試合	富山病院	12対11	新潟第二病院
第2試合	富山病院	3対17	金沢病院
第3試合	金沢病院	10対4	新潟第二病院
決勝戦			
福井病院		6対0	金沢病院

患者様とのふれあい たなばた音楽会 開催



♪「ささの葉さらさら 軒端にゆれる…」

職員の“よこ笛”による演奏にあわせて、会場に集まれた患者さまやご家族の皆様方と一緒にたなばた様の歌から始まりました。

旧暦七夕祭の1週間前、7月31日(土)に恒例となりました七夕飾りを眺めながら、“第14回 夏の七夕音楽会”を開催しました。

会場の1階エントランスホールには、8mを越える大きな孟宗(もうそう)竹に、皆様からお預かりした600枚を越す願いを書いた色とりどりのたんざくが掛けられており、音楽会に季節感を添えました。

選曲も夏をテーマとした唱歌を中心に、職員の手による生演奏に合わせ、浜辺の唄・我は海の子・知床旅情などを会場に集まれた皆さまと共に歌いました。ちょうど夏休みと言うこともあり、前回の音楽会のゲストにお招きした富山東高校合唱部の学生さんにも飛び入りで参加していただき、にぎやかな雰囲気です。前半を過ごしました。

後半は、懐かしのフォークソングを得意とされている“楽屋姫”さんをゲストに迎え、かぐや姫のヒット曲「神田川」や坂本九の「上を向いて歩こう」、また「しゃぼん玉・うみ・あかとんぼ」といった童謡を交えて、ギターの音色にきれいな歌声を乗せて皆様を魅了して下さいました。昨年4月の10回目の音楽会にも来て下さり、患者さまからのリクエストもあり、今回で2回目のご参加となりました。

音楽会の演奏と共に、夏祭りを模した水ヨーヨー

一釣も行い、子供達の人気を集めていました。

100個用意したヨーヨーも1時間もしないうちに飛ぶようになり、お子さまのみならず「懐かしいねえー、見舞いに来てくれる孫に1つお土産に…」と持ち帰る患者さまも見受けられました。

この催しは“患者さまをはじめとした会場に集まったみんなで、楽しい時間を過ごす”ことを目的とし、5年前から開催しています。当院では季節に合わせた童謡唱歌を選曲し、職員やボランティアによる楽器演奏・ピアノ伴奏で患者さまと共に歌い、患者さま主役の会を目指しています。

次回は10月30日(土)“秋の音楽会”を予定。ハワイアンフラダンス&ウクレレグループの皆様をゲストにお迎えして行います。

放射線技術科
石崎宗一郎



私達の
職場

5階病棟



5階病棟は、産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科・内科など5つの診療科が中心となる混合病棟です。病床数は、44床で、個室が8部屋、4人部屋が9部屋となっています（お産の場合はお母さんの入院に伴う新生児は病床数には含まれていません）。5階病棟の特徴としては、日々の入退院患者数が院内で一番多いことや在院日数が短いことがあげられます。ですから、総入院数35名であっても退院10名入院10名であれば総入院数は同数だったり、勤務日が一日異なればガラッと患者層もめまぐるしく入れ替わるといったことが日常的にあります。ですが、私たちはどんなに入院が多くても忙しくても毎日笑顔を決やさず、患者さまの安全(医療事故を起こさない!)および快い入院生活が送れるように全スタッフが努力しています。

平成14年度より、母乳育児の成功・お母さんと赤ちゃんの幸せを目標に母子同室を実施しています。母子同室は、お母さんと赤ちゃんがお互いを認識し絆が深まっていくと言われていています。お母さんの横でスヤスヤと眠る赤ちゃん、その姿を見守るお母さん、この光景は、ほのほのとしていて私たちスタッフはどんなに仕事が忙しくても心癒される一瞬です。また、命が生まれる瞬間は、大変緊張もしますが私たちに感動も与えてくれます。

さらに5階病棟は小児科に加えて耳鼻科や眼科でも小児の入院が多いことも特徴のひとつです。子

ども達はもちろん、ご両親も不安を抱くことなく入院生活が送れるようにいろいろな工夫をしています。例えば七夕会・クリスマス会などの紙芝居やクイズ・工作などの催し、ストレスである点滴を軽減しつつ実施するための点滴ボトル用イラスト入り袋の作成などスタッフからのアイデアあふれる自由な環境がここにあります。

最後に『親切・明るくて優しい・笑顔が素敵!』と思われるよう、患者さまが『この病院を選んで良かった』と思ってもらえるような病棟作りを目指しスタッフ一同努力していきたいと思っています。

看護部
千田昌代



私達の
職場

臨床検査科



当検査科のスタッフは本年度2名の新卒技師を迎え、院内受託検査技師を含め12名です。私たち臨床検査技師は病気とからだ、そして検査方法について学び、質の高い検査データを迅速に医師に提供できるよう日々の検査業務を行っています。

検査室は1階と2階に分かれており、1階では心電図・脳波など直接患者さまのからだに触れて、からだの機能を調べる生理機能検査を行っています。2階では中央採血室で採取された血液や尿の検体で、肝臓や腎臓の機能を知る検査、糖尿病・高脂血症・高血圧・動脈硬化などに関する検査及び貧血など血液の異常を知るための検体検査を行っています。

平成14年4月よりオーダーリングシステムが導入され、外来の血液・尿検体の90%以上の緊急検査依頼に対して、患者さまの待ち時間を少しでも短くするよう検体到着後40分以内に報告し、通常検査依頼に対しても1時間以内に報告するよう努めてい

ます。病棟検査依頼に対しては朝10時までに報告書を作成し、病棟回診時に医師が結果を参照できるようにしています。また、健康管理センターからの検査依頼に対しては10時30分までに報告書を作成し、診察に対応しています。さらに検査値に異常が出た際には、FAXと電話連絡によって報告しています。

生理機能検査の充実のため、心電図検査、脳波検査や呼吸機能検査に加え、以前は医師により行われていた心臓・腹部超音波検査は私たち臨床検査技師が行っています。また、新幹線運転手の居眠り事故で注目されるようになった睡眠時無呼吸症候群の検査である終夜睡眠ポリグラフ検査は自動解析するのではなく、技師が解析することで、きめ細かい判定が可能となり診断に貢献しています。

当検査室では患者さまとのコミュニケーションを大切にしています。患者さまは少なからず不安感を持ち、検査に臨まれています。その気持ちを思いやり、事前説明で検査内容を理解していただき、不安感を取り除いていただいております。患者さまの御理解と御協力が検査の精度向上と効率化につながっております。さらに院内勉強会や学会等で最新の情報を取り入れ、増え続ける新しい検査へ対応することが病院の理念である「患者さま本意の心温まる すぐれた医療の提供」に結びつくと考えております。

臨床検査科
山本富夫

ご案内図



- 車 ▶ 富山駅より20分
- JR ▶ 東富山駅より徒歩15分
- 地鉄 ▶ 済生会病院経由 東高校線
 富山駅前～新庄新町～問屋センター口～上飯野団地～済生会病院
 運転教育センター経由 済生会病院線
 富山駅前～新庄新町～針原新町～運転教育センター～済生会病院
 下赤江経由 済生会病院線
 富山駅前～永楽町～下赤江～米田すずかけ台～済生会病院
 下赤江・済生会病院経由 リハビリセンター線
 富山駅前～永楽町～下赤江～米田すずかけ台～済生会病院

済生会富山病院報
 発行者
 富山県済生会富山病院
 院長 辻 政彦

【編集委員会】
 石崎 宗一郎
 風間 泰蔵
 加藤 洋平
 坂田 亜由美

下 司 洋 臣
 杉 瀬 啓
 西 川 和 良
 日南田千賀子
 松 能 久 雄
 松 本 晃
 南 沢 晃
 森 田 晃
 山 本 富
 夫

〒931-8533 富山市楠木33番1 TEL (076) 437-1111 (代) FAX (076) 437-1122
 ホームページアドレス <http://www.saiseikai-toyama.jp/>
 メールアドレス t0115667@ruby.ocn.ne.jp